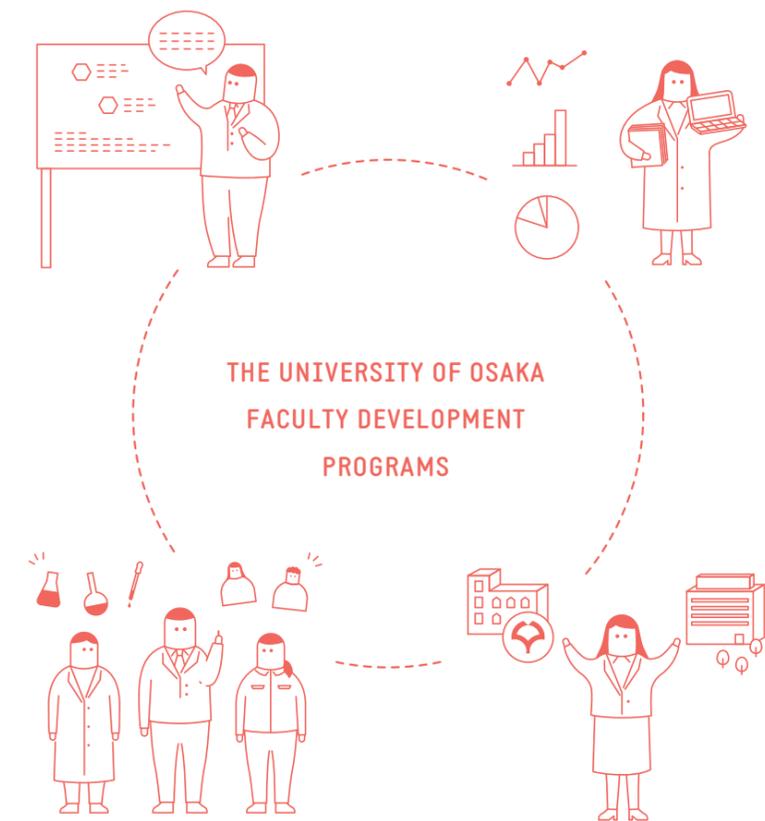


大阪大学教員のための

# ファカルティ・ディベロップメント プログラムガイド



お問い合わせ先

各FDプログラムの詳細については、  
開催部局にお問い合わせください。



発行

大阪大学 FD 委員会

編集

大阪大学教育・学生支援部教育企画課総務係  
大阪大学チュードント・ライフサイクルサポートセンター教学支援部  
大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部



大阪大学 全学教育推進機構  
教育学習支援部

2025年度

10月～3月

## 大阪大学教員の皆様へ

近年、大学はさまざまな「改革」を社会から求められています。その中でもとりわけ重要なことは、高等教育機関としての大学が優れた人材を育成し、社会に貢献していくことです。そのためには、教育を担う立場にある教員に高い教育・研究能力を備えることが必要であります。

本学は、2017年10月以降新たに採用された教員に対して、教育や研究等に関する30時間の研修プログラムの受講を必須化しております。この取り組みによって、大学の社会に対する説明責任を果たすとともに、本学の各教員に、教員として必要となる能力を身につける権利を保障するものです。

もとより本プログラムガイドに掲載されているセミナーや研修自体は、新任教員だけではなく、全教員を対象として設計されています。本学の教育、研究、社会学連携、マネジメントすべての領域で高いパフォーマンスを発揮するため、できるだけ多くの教員の皆様にご参加いただきたいと考えています。

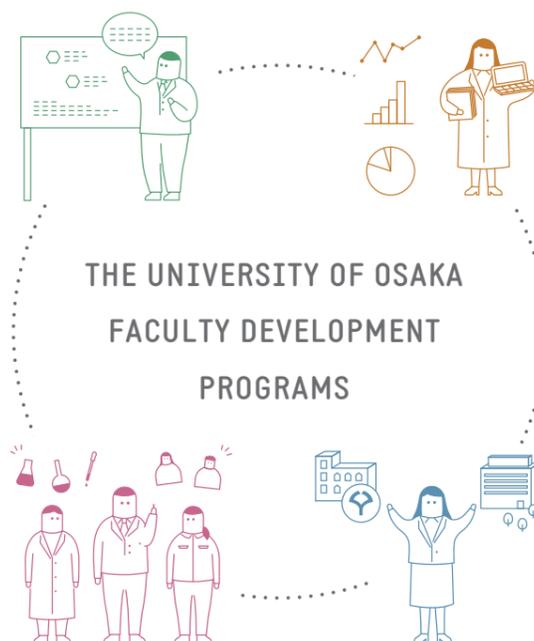
## 概要

### 大阪大学ファカルティ・ディベロップメント研修プログラム

大阪大学はFD(ファカルティ・ディベロップメント)に積極的に取り組んでいます。本プログラムは、教員として必要な①教育能力、②研究能力、③社会学連携能力、④マネジメント能力の4つのカテゴリーに分けて整理されています。伸ばしたい能力にあわせてプログラムガイドをご活用ください。

#### 教育能力 開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム(CLE)の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。



#### マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

#### 研究能力 開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

#### 社会学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた道塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

## 新任教員の皆様へ

本学では、従来から教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的として、FD(ファカルティ・ディベロップメント)に積極的に取り組んでまいりました。これに加えて、本学へ新規採用となった教員の皆様に、本学の教員として身につけておくべき基本的な知識やスキルを習得する機会を提供するため、新任教員研修を必須化し、本学の教育、研究、社会学連携、学内運営に関する取組のさらなる向上を目指しています。

本学へ新規採用となった講師・助教等の教員の皆様には、このプログラムガイドを参考に、全学及び各部局が実施する各種教員向け研修を採用後3年間で30時間受講していただき、教育、研究、社会学連携及びマネジメント能力の習得に努めてください。

2025年後期のプログラムも多岐にわたる研修が開講されます。本学の教員として教育研究に携わるうえで有益なものですので、積極的な受講をお願いします。



理事・副学長(教育担当)  
田中敏宏

### 🕒 研修プログラム受講必須時間数

新任教員の皆さんは採用後3年間で30時間のプログラムを受講してください。研修プログラムは分野ごとに4つのカテゴリーに分かれております。

#### 各プログラムの受講必須時間

- ▶ 教育能力 開発プログラム ..... 10時間以上
- ▶ 研究能力 開発プログラム ..... 4時間以上
- ▶ 社会学連携能力 開発プログラム ..... あわせて6時間以上
- ▶ マネジメント能力 開発プログラム ..... あわせて6時間以上

※研修プログラムの受講時間数は、学内ポータルサイト「マイハンド」内「大阪大学CLE(授業支援システム)」の「コミュニティページ」にて確認することができます。受講時間のCLEへの反映は、受講されてから約2ヶ月後となりますことをご了承ください。

### 🎓 新任教員研修の修了証書

上記の受講時間数を満たした場合は、新任教員研修の修了証を発行します。



#### 「未来の大学教員養成プログラム」等 ブレFDを修了した方へ

本学及び他大学においてブレFDプログラム(大学院生を対象とした教育能力開発プログラム)を修了した方は、修了プログラム等の内容に応じて、左記の研修プログラムの受講必須時間数に算入することができます。詳細については、所属部局の事務にお問合せください。

#### 修了証書

殿  
あなたは大阪大学新任教員研修プログラムにおいて30時間を修了しましたのでこれを証します

年 月 日  
大阪大学理事

### 📄 大阪大学全学FDプログラム受講証明制度

大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部(旧:教育学習支援センター)では、2014年度から全学FDプログラムの受講証明制度を実施しています。教育学習支援部では、受講者の申し出に応じて、当部で提供しているプログラムに関して30時間ごとに受講証明書を発行します(上限120時間)。

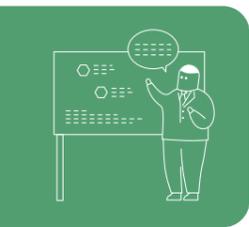
詳しくは、こちら → [https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd\\_program/](https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_program/)

🔗 研修プログラム一覧 (令和7年度下期(2025.10 ~ 2026.3)通年開催分)

※いずれか1つの形式でご参加ください。

カテゴリ	掲載ページ	対面	オンライン	オンデマンド	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	日時	時間数
10~3月							
研究	P.15	吹田	-	-	人間科学研究科：行動学系若手セミナーシリーズ	10月2日,12月4日, 1月8日,2月5日,3月12日 各15:30-16:40	各1.17
教育	P.6	-	○	-	授業デザインの方法	10月9日 13:30-15:00	1.5
マネジメント	P.25	吹田	-	-	ストレスを解消し、腰痛・肩こりを予防し、仕事力向上をさせるための中医学的体操プログラム	10月15日,11月19日 17:40-18:40	1
マネジメント	P.25	吹田	-	-	ストレス解消と仕事力向上のためのヨガプログラム	10月17日,11月21日, 12月19日,1月予定 各月1回12:20-13:20	各回1
教育	P.6	-	○	-	アクティブ・ラーニング【実践編】	10月17日 13:30-14:30	1
教育	P.6	-	○	-	本学における障がい学生支援	10月23日 12:15-13:30	1.25
研究	P.15	-	○	-	STEM コンピューティング・プラットフォーム Maple 講習会	10月24日 13:00-15:00	2
マネジメント	P.25	吹田	-	-	働き方改革推進研修	10月28日 13:30-15:30 予定	2
社会学連携	P.23	-	○	-	大阪大学の歴史	11月5日 15:10-16:40	1.5
マネジメント	P.26	吹田	-	-	情報科学研究科FD・SD研修	11月6日	1.67
社会学連携	P.23	適塾	-	-	新任教員向け講義+適塾見学会～阪大の歴史を辿る～	11月11日	1
研究	P.15	豊中	-	-	研究教育フォーラム	11月13日 15:30-17:50	2
研究	P.15	豊中	○	-	STEM コンピューティング・プラットフォーム Mathematica 講習会	11月14日 13:00-15:00	2
マネジメント	P.26	豊中	-	-	傾聴について	11月14日 13:30-15:00	1.5
教育	P.7	-	○	-	学際教育の方法	11月19日 17:00-19:00	2
教育	P.7	-	○	-	シラバスの書き方【実践編】	11月20日 13:30-15:00 11月27日 15:10-16:40	1.5
マネジメント	P.26	豊中	-	-	人文学研究科ハラスメント防止研修会	11月27日 15:10-16:10	1
社会学連携	P.23	豊中	-	-	阪大ブランド発信地としての大学博物館	12月8日	1.5
研究	P.16	-	○	-	特許入門セミナー～研究成果を守るための第一歩～	12月20日 13:00-16:15	3
教育	P.8	豊中	-	-	授業における生成AIの活用【発展編】	12月26日,2月27日 16:50-18:20	1.5
マネジメント	P.26	豊中	-	-	文学部ハラスメント防止研修会	1月22日 13:00-14:00	1
教育	P.8	豊中	-	-	人文学の問いを拓げる教員のためのデジタルヒューマニティーズ入門	1月22日 16:15-17:15	1
未定							
教育	P.8	吹田	-	-	学生のこころへの関わり方	10月開催予定	1.5
マネジメント	P.26	-	-	○	蛋白研防災安全講習会	10月頃の1か月間 (日程未定)	1
教育	P.9	豊中	-	-	高等司法研究科授業見学会	10月～11月	1.5
マネジメント	P.27	未定	○	-	非化学系のための化学薬品取扱講習	10月～11月頃	1.5
マネジメント	P.27	未定	○	-	詳解：化学物質安全取扱講習	10月～11月頃	1.5
マネジメント	P.27	未定	○	○	大阪大学薬品管理支援システム(OCCSM)の利用について	対面,オンライン:10~11月 オンデマンド:~3月31日	1
マネジメント	P.27	未定	○	○	実験系廃液・排水の取扱い	対面,オンライン:10~11月 オンデマンド:~3月31日	1
マネジメント	P.28	豊中	○	○	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (コアファシリティ機構低温科学支援部門豊中分室編)	対面,オンライン:10~11月 オンデマンド:~3月31日	1.5
マネジメント	P.28	吹田	○	○	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (コアファシリティ機構低温科学支援部門吹田分室編)	対面,オンライン:10~11月 オンデマンド:~3月31日	1.5
マネジメント	P.28	未定	○	○	大阪大学高圧ガス管理支援システム(OGCS)利用講習	対面,オンライン:10~11月 オンデマンド:~3月31日	1
マネジメント	P.28	-	-	○	理学研究科・理学部ハラスメントに関する研修会	10月～11月頃	1
教育	P.9	豊中	○	-	高等司法研究科FD講演会(外部講師によるモデル授業、意見交換会)	10月～1月	3
教育	P.9	-	-	○	大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム(FDフォーラム)	10月頃～3月	2.5
教育	P.9	-	-	○	令和7年度大学院副専攻・大学院等高度プログラム/ 高度教養モジュール情報交換会	10月1日～3月31日	1.17
社会学連携	P.23	-	-	○	「映画『洪庵と1,000人の若ものたち』鑑賞と解説」	10月1日～3月31日	1.5
教育	P.10	吹田	-	-	ストレスの弊害と対処法(中医学的視点から)	11月開催予定	2.5
教育	P.10	吹田	-	-	研究室不登校の学生へのアプローチについて	11月開催予定	1.5
マネジメント	P.29	-	○	○	Well-being研修	オンライン:11月頃予定 オンデマンド:~3月31日	1
マネジメント	P.29	吹田	-	-	ハラスメント防止に関する講習会	11月～2月の1日 14:00-15:30	1.5
マネジメント	P.29	-	○	-	未定(民族問題に関する講演内容の予定)	12月(日程未定)	1.5
研究	P.16	豊中	-	-	研究・教育のための工作技術講習会-ガラス工作基礎	2日間(2~3月期開催)	計15
研究	P.16	豊中	-	-	研究・教育のための工作技術講習会-ガラス工作アドバンス	2日間(2~3月期開催)	計15
研究	P.16	豊中	-	-	研究・教育のための工作技術講習会-機械工作	4日間(2~3月期開催)	計30

カテゴリ	掲載ページ	対面	オンライン	オンデマンド	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	日時	時間数
未定							
教育	P.10	箕面	-	-	学部留学生プログラム日本語科目担当教員向けFD研修会	3月頃	2
教育	P.10	-	○	○	外国人留学生のキャリア支援	オンライン:3月(予定) オンデマンド:3月末(予定)	1
マネジメント	P.29	-	○	○	メンタルヘルス講習会	未定	未定
マネジメント	P.30	箕面	-	-	キャンパスハラスメントに関する研修会	未定 今年度中の教授会開催 日に1時間程度を予定	1
定期開催							
教育	P.11	吹田	-	-	FD研修会	隔月1回程度 (日程未定)	各回 1程度
研究	P.17	吹田	○	-	生命機能研究科コロキウム	毎週火曜日 12:15-13:00	0.75
研究	P.17	豊中	-	-	機械工作ステューデントショップ利用のための安全講習会	週1回程度開催	1
研究	P.17	吹田	-	-	ISTランチセミナー	週1回程度 12:00-13:00	1
研究	P.18	吹田	-	-	微研集談会	毎月第4火曜日 (12月,1月を除く) 16:00-17:00	1
研究	P.18	吹田	○	-	アドバンスセミナー	毎月1回(3月を除く) 16:00-17:00	1
研究	P.18	豊中	-	-	研究・教育のための3D-CAD入門講習会	毎月1回程度開催	3
研究	P.18	吹田	○	-	ISTネットワークイベント	隔月 ※対面またはオンライン	各回 1.5
研究	P.19	吹田	○	-	蛋白研コロキウム	隔月1回程度 (日程未定) ※対面またはオンライン	各回 1程度
随時開催 ※オンデマンドは最終ページにまとめて記載しています。							
研究	P.19	-	-	○	Nature Masterclasses On-demand [A]-科学プレゼンテーションの技術向上	~2月9日	2-3 (計10)
研究	P.19	-	-	○	Nature Masterclasses On-demand [B]-説得力のある助成金申請書の執筆方法	~2月9日	2-3.5 (計7.5)
研究	P.19	-	-	○	Nature Masterclasses On-demand [C]-論文投稿から出版までの流れの理解	~2月9日	1.5-1.75 (計3.25)
研究	P.20	-	-	○	Nature Masterclasses On-demand [D]-効果的な論文の執筆方法	~2月9日	2-5.5 (計14.5)
教育	P.11	-	-	○	障がい学生のキャリア支援【修学支援編】 ~社会移行を見据えた修学支援とキャリア支援~	~2月末	1
教育	P.11	-	-	○	障がい学生のキャリア支援【就職支援編】 ~職場への定着を見据えた精神・発達障がい者の就労支援~	~2月末	1
教育	P.11	-	-	○	障がい学生のキャリア支援【インターンシップ編】 ~精神・発達障がいのある大学生のためのインターンシップ~	~2月末	1
教育	P.12	-	-	○	博士学生・ポストクのキャリア支援【知識編】	~2月末	1
教育	P.12	-	-	○	博士学生・ポストクのキャリア支援【指導編】	~2月末	1
マネジメント	P.30	-	-	○	SOGI研修	~3月15日	1
教育	P.12	-	-	○	CLE講習会(入門編)	~3月31日	2
教育	P.13	-	-	○	CLE講習会(応用編)	~3月31日	2
教育	P.13	-	-	○	オンラインビデオ教材作成法(Echo編)	~3月31日	1.5
教育	P.13	-	-	○	アクティブ・ラーニング【基礎編】	~3月31日	1
教育	P.14	-	-	○	シラバスの書き方【基礎編】	~3月31日	1
教育	P.14	-	-	○	学習評価	~3月31日	3
教育	P.14	-	-	○	授業における生成AIの活用【基礎編】	~3月31日	1
研究	P.20	-	-	○	オープンサイエンス時代における研究データマネジメント基礎	~3月31日	1
研究	P.20	-	-	○	人文学研究者必見! テキストデータとTEIで描く新たな研究ビジョン	~3月31日	1
研究	P.21	-	-	○	人文学研究者必見! 研究データ管理ことはじめ -OUKAで始めるIIIF画像の公開と利活用-	~3月31日	1
研究	P.21	-	-	○	倫理審査はなぜ必要? 人を対象とする研究の「倫理原則」基礎知識	~3月31日	0.58
研究	P.21	-	-	○	オープンアクセスを巡る状況と大阪大学におけるオープンアクセス支援	~3月31日	1
研究	P.22	-	-	○	不正防止について	~3月31日	0.33
社会学連携	P.24	-	-	○	なるほど! プレスリリース	~3月31日	0.75
マネジメント	P.30	-	-	○	産研メンター制度実施利用者に向けての講演会	~3月31日	2
マネジメント	P.31	-	-	○	大阪大学新任教職員研修(大学理解研修)	~3月31日	1.17
マネジメント	P.31	-	-	○	バイオセイフティー講習会	~3月31日	2
マネジメント	P.31	-	-	○	電気コンセントと電気配線の安全講習	~3月31日	1
マネジメント	P.31	-	-	○	新入教職員安全衛生講習会	~3月31日	1



## 教育能力 開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム(CLE)の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。  
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

## 授業デザインの方法

講師：長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)

**オンライン** 10月9日 13:30-15:00

〈キーワード〉教育技法、授業設計、学習目標、学習評価

〈概要〉大学教育を取り巻く環境が変わる中で、大学教員には、アクティブ・ラーニングやICTツールなどを適切に活用するための多様な教育能力が求められています。しかし、これらの先進的な教育技法を最大限に活かすためには、授業の骨組みとなるしっかりとした授業デザインが不可欠です。そこで本研修では、教育学におけるインストラクショナル・デザインの理論に基づいた授業デザインの基本的な考え方や方法論について、ワークも交えながら実践的に学ことを目指します。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ [tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (<https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>)にて、開催前日の15時までにお申し込みください。》



20名 1.5時間 日本語 オンライン

## アクティブ・ラーニング【実践編】

講師：村上 正行(全学教育推進機構 教授)

長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)

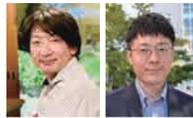
**オンライン** 10月17日 13:30-14:30

〈キーワード〉アクティブ・ラーニング、教育技法

〈概要〉アクティブ・ラーニングとは、学生の学習意欲の向上や汎用的能力の育成に有効な教授・学習法の総称です。本研修では、大学におけるアクティブ・ラーニングの導入背景や、対面授業やオンライン授業に活用できるアクティブ・ラーニングの手法について説明します。また、学生の主体的な学習活動を促す様々な教育技法を組み合わせるアクティブ・ラーニング型授業をデザインする方法についても考えます。少しの時間ですが、後半にグループ議論を行う予定です。  
※本研修は、原則「アクティブ・ラーニング【基礎編】」を受講してきた方を対象としております。グループワークをメインとした研修となります。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ [tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (<https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>)にて、開催前日の15時までにお申し込みください。》



制限なし 1時間 日本語 オンライン

## 本学における障がい学生支援

講師：望月 直人(キャンパスライフ健康支援・相談センター 准教授)

**オンライン** 10月23日 12:15-13:30

〈キーワード〉合理的配慮、社会モデル

〈概要〉差別解消法に基づく法的義務として、本学におけるコンプライアンスとして障がい学生支援に求められる知識や障がいのある学生への基本的対応を身につけることを目的とします。ダイバーシティ&インクルージョンが推進される本学において、障がいをはじめ多様な人材で構成される大学の今後のあり方についても考える機会としたいです。  
〈備考〉令和6年度に開催された「障がい学生支援」と一部重複した内容となります。今年度前期に開催した「障がい学生支援」と同一の内容です。

《問合せ先：キャンパスライフ健康支援・相談センター ☐ [campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：お申込は1か月程度前に全学掲示板へ掲載するご案内に記載のフォームによりお願いします。  
新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》

制限なし 1.25時間 日本語 オンライン

## 学際教育の方法

講師：田尾 俊輔(学際大学院機構 助教)

堀井 祐介(学際大学院機構 教授)

島村 道代(学際大学院機構 教授)

李明(学際大学院機構 招へい准教授)

**オンライン** 11月19日 17:00-19:00

〈キーワード〉学際、DWAA、知と知の融合、社会と知の統合、異分野理解、共同研究、ICT活用

〈概要〉学際教育、文理融合教育、総合知教育という用語を最近よく耳にするようになりました。大阪大学では多様な学部・研究科等から科目が提供されていますが、学生に科目を提供することに加え、どのように異なる分野と学際(transdisciplinary)できるのかを教えることも重要であると考えられます。そこで本研修では、大阪大学での学際教育の実践事例を体験し、学際教育を進めるにあたって教員は何をどのように教えると良いのかについて考えます。現在、学部・大学院で学際教育を担当されている方、これから学際教育の授業を設計しようと考えている方のみならず、一般教養科目や専門科目等で異なる学部・研究科の学生を教えている方にも参考にしていただける内容となっています。  
※本FDの受講にあたっては、ChatGPTのアカウントを作成しておいてください(無料版またはChatGPT以外の生成AIでも構いません)。

〈備考〉ペアワークやグループワークをメインに進めていきますので、マイクを(できればカメラも)ONにできる環境からご参加ください。研修時間内でWebアンケートフォームや生成AIに入力する機会があります。また、最後に全体での意見交換や情報交換を行います。

《問合せ先：学際大学院機構(i-TGP)横断型教育統括部門 ☐ [tao.shunsuke.itgp@osaka-u.ac.jp](mailto:tao.shunsuke.itgp@osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：開催日11/19(水)の正午までに下記のフォームからお申し込みください。先着順となります。  
(<https://forms.office.com/r/RCmHfnFzWe>)》



16名 2時間 日本語 オンライン

## シラバスの書き方【実践編】

講師：長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)

**オンライン** 11月20日 13:30-15:00

11月27日 15:10-16:40

〈キーワード〉シラバス、授業設計、目的、目標、スケジュール、評価

〈概要〉シラバスは、授業内容の紹介だけでなく、授業の設計図として学生の学びを効果的に促進するための重要なツールです。本セミナーでは、授業の指針として学習のために活用できるようなシラバスの作成方法について説明します。講義形式の解説に加え、個人ワークを通じて、授業の目的や目標、内容設定、評価方法の作成スキルを身につけることを目指します。なお、本セミナーは令和6年度から導入された新フォーマットにも対応しています。  
※本セミナーは、「シラバスの書き方【基礎編】」の内容にワークを加えたプログラムとなっています。そのため、講義部分の内容が【基礎編】と重複しておりますので、あらかじめご了承ください。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ [tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (<https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>)にて、開催前日の15時までにお申し込みください。》



制限なし 1.5時間 日本語 オンライン

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は8月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドイ」(FD関係)にてご確認ください。



## 教育能力 開発プログラム

### 授業における生成AIの活用法【発展編】

講師：浦田 悠(全学教育推進機構 准教授)  
長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)  
村上 正行(全学教育推進機構 教授)

**豊中** 12月26日 16:50-18:20  
2月27日 16:50-18:20

〈キーワード〉生成AI、学習評価、ICT活用

〈概要〉本研修では、生成AIの最新動向と、教育現場での具体的な活用法について実践的に学びます。基礎編で得た知識を土台に、生成AIを活用して授業の効率化や教育の質向上を図る実践的な知識やスキルを習得することを目的としています。本研修の前半では、最新動向も紹介しながら、生成AIが大学教育にもたらす可能性や課題を共有し、授業デザインや学習支援、業務効率化等に役立つ具体的な方法を紹介します。後半では、その操作方法を体験的に学び、参加者同士での議論を深めます。参加者は演習を通じて、生成AIを教育現場に適用する際の実務的なノウハウを習得し、自身の教育活動における新たな可能性を探る機会を得ることができます。生成AIをより高度に活用したい教員に最適な内容です。

※受講の際は、Chat GPT (<https://chat.openai.com/>) のアカウントを事前に準備していただくことをおすすめします。その他の文章生成AI (Gemini、Copilot、Claude等) をご準備いただいても構いません。

※パソコン (Windows・Mac) をご持参ください。

※本研修は、オンデマンド研修「授業における生成AIの活用法【基礎編】」の内容を踏まえた発展編となりますので、生成AIについての基礎的な知識の習得については、【基礎編】の受講をおすすめします。

《問合せ先：全学教育推進機構教育学習支援部》 [✉ tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：全学教育推進機構教育学習支援部のウェブサイト (<https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>) にて、開催前日の15時までにお申し込みください。》

25名 1.5時間 日本語 対面



**限定** 人文学研究科・文学部

### 人文学の問いを拡げる教員のための デジタルヒューマニティーズ入門

講師：吉賀 夏子(人文学研究科 准教授)

**豊中** 1月22日 16:15-17:15

〈キーワード〉DH、人文学

〈概要〉近年、国内外の大学でデジタルヒューマニティーズ (DH) に関する科目が整備されつつあり、本文学部でも2025年度からDH関連科目の開講が始まりました。DHの重要性については多くの教員が認識している一方で、その捉え方や関心の度合いには大きな開きがあります。本研修では、そうした距離感を少しでも埋めることを目的とし、DHの技術的な側面に留まらず、その背景にある思想や考え方にも目を向ける機会としたいと考えています。

《問合せ先：滝川 幸司(人文学研究科 教育支援室 室長)》 [✉ takigawa.kouji.hmt@osaka-u.ac.jp](mailto:takigawa.kouji.hmt@osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：原則として開催部局内限定です。他部局所属の教職員の参加については別途相談を承ります。》

50名 1時間 日本語 対面



### 学生のこころへの関わり方

講師：根岸 和政(工学研究科 准教授)

**吹田** 10月開催予定

〈キーワード〉共感、レジリエンス、学生指導上の留意点、学生のメンタルヘルス

〈概要〉人間の行動原理、学生の心情、その関わり方について紹介します。

《問合せ先：工学研究科 レジリエンスサポート&トレーニングセンター 工学部・工学研究科相談室》 [✉ negishi@rest.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:negishi@rest.eng.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：ICHO掲示板でご案内します。》

30名 1.5時間 日本語 対面

定員

受講時間

使用言語

研修形式

**限定** 法学系教員

### 高等司法研究科授業見学会

講師：高等司法研究科 FD・教育企画委員会が選定した数名

**豊中** 10月～11月

〈キーワード〉説明、指示、パワーポイント、板書、配布資料、教室マネジメント

〈概要〉高等司法研究科FD・教育企画委員会が選定した授業に参加し、授業の進め方、教授方法、配布資料等を実際に見学・見聞することによって、各自の授業を改善する手がかりを得ます。これにより、学生の知識習得と理解向上のため、必要なスキルを習得し、教育能力を向上することを、目的とします。

《問合せ先：高等司法研究科 教務係》 [✉ hokou-kousikyomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:hokou-kousikyomu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：9月以降、高等司法研究科授業担当教員、法学系新任教員に対するメール募集・申込を予定しています。》

各回  
数名程度 1.5時間 日本語 対面

**限定** 法学系教員

### 高等司法研究科FD講演会 (外部講師によるモデル授業、意見交換会)

講師：未定

**豊中** **オンライン** 10月～1月

〈キーワード〉説明、指示、パワーポイント、板書、配布資料、教室マネジメント

〈概要〉他大学法科大学院等の教員のモデル授業に参加し、授業の進め方、教授方法、配布資料等を実際に見学・見聞します。続く意見交換会では、当該教員のほか、複数の法科大学院の教員が出席して、意見交換会を行います。これにより法科大学院学生の知識習得と理解向上のため、必要なスキルの習得と教育能力の向上を目的とします。

《問合せ先：高等司法研究科 教務係》 [✉ hokou-kousikyomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:hokou-kousikyomu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：9月以降、高等司法研究科授業担当教員、法学系新任教員に対するメール募集・申込を予定しています。》

30名  
程度 3時間 日本語 対面  
オンライン

### 大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム (FDフォーラム)

講師：未定

**オンデマンド** 10月頃～3月を予定

〈キーワード〉教育改革、ブレンデッド教育、メディア授業、アクティブ・ラーニング等

〈概要〉本学教員に対し、ファカルティ・ディベロップメントの機会を提供し、教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的とします。

1. 基調講演またはパネルディスカッション：参加者全員を対象として情報提供を行います。
2. グループセッション

《問合せ先：教育・学生支援部 教育企画課 総務係》 [✉ gakusei-gakumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:gakusei-gakumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：オンデマンドは CLE で公開予定です。》

制限なし 2.5時間 日本語 オンデマンド

### 令和7年度大学院副専攻・大学院等高度副プログラム/ 高度教養モジュール情報交換会

講師：プログラム・モジュール担当教員(詳細は決定次第お知らせします)

**オンデマンド** 10月1日～3月31日

〈キーワード〉大学院副専攻プログラム、大学院等高度副プログラム、高度教養モジュール、学際

〈概要〉大学院副専攻・高度副プログラムや高度教養モジュールの事例紹介を通して、プログラム・モジュールの実施運営のグッドプラクティスを全学的に共有するとともに、プログラム・モジュールを新規開設あるいは改善する際に役立つ知見を共有する場とします。現在プログラムを担当されていない先生方にも、授業を学際的に展開することのメリットや方法について学び、考える機会としてご活用いただけます。

《問合せ先：学際大学院機構(i-TGP)横断型教育統括部門》 [✉ tao.shunsuke.itgp@osaka-u.ac.jp](mailto:tao.shunsuke.itgp@osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：下記のフォームからお申し込みください。  
(<https://forms.office.com/r/py4JR4t6jk>)  
オンデマンド研修は9月に開催したリアルタイムオンライン研修を録画したものです。  
リアルタイムとオンデマンドの重複受講はできません。どちらかにご参加ください。》

制限なし 1.17時間 日本語 オンデマンド

※掲載内容は8月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドイ」(FD関係)にてご確認ください。



## 教育能力 開発プログラム

### ストレスの弊害と対処法（中医学的視点から）

講師：中本 かよ（大阪漢方医学振興財団 理事長）

**吹田** 11月開催予定

〈キーワード〉ストレス・マネジメント、メンタルヘルスケア、足助式医療体操

〈概要〉まず、ストレスと健康との関係について学びます。その後、健康で更なる良い研究・教育を実践するための、ストレス・マネジメントの具体的な手法として、足助式医療体操について学びます。体験演習の都合上、動きやすい服装、履物でご参加いただきますようお願い申し上げます。①ヨガマットまたはバスタオル、②手ぬぐいまたはスポーツタオル等の長さのあるタオル（約100cm）の2点をご用意ください。

《問合先：工学研究科 レジリエンスサポート & トレーニングセンター 工学部・工学研究科相談室  
✉negishi@rest.eng.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO掲示板でご案内します。》



### 研究室不登校の学生へのアプローチについて

講師：根岸 和政（工学研究科 准教授）

**吹田** 11月開催予定

〈キーワード〉研究室不登校の要因、人間の行動原理、共感、レジリエンス、ストレス

〈概要〉研究室不登校に陥ると、孤立無援感に苛まれ復帰することが容易でないことから、早めの対処が望まれます。また、研究室の運営、チームワークにも支障をきたすばかりか、教職員の負担も増加します。この観点から基本的な対応法を紹介します。

《問合先：工学研究科 レジリエンスサポート & トレーニングセンター 工学部・工学研究科相談室  
✉negishi@rest.eng.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO掲示板でご案内します。》



**限定** 日本語日本文化センター常勤教員及び学部留学生プログラム日本語科目担当教員

### 学部留学生プログラム日本語科目 担当教員向けFD研修会

講師：学部留学生プログラムコーディネーター  
学部留学生プログラム日本語科目コーディネーター

**箕面** 3月頃

〈キーワード〉学部留学生、予備教育、日本語教育

〈概要〉日本語日本文化教育センターの常勤教員や学部留学生プログラムの日本語科目担当教員を対象に、学部留学生プログラム日本語科目担当教員向けFD研修会を開催します。本研修会は、同プログラムの日本語科目に関する情報提供と意見交換の機会を設けることを通じて、同プログラムの日本語科目や留学生に対する理解を深め、授業デザインや授業で使用する教材、課題、試験の内容改善を促進することを目的としています。

《問合先：人文学研究科 箕面事務部 日本語日本文化教育センター係 ✉cjl@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催約1ヵ月前に日本語日本文化教育センター内で通知します。》



### 外国人留学生のキャリア支援 (Career Support for International Students)

講師：藤原 京佳（国際機構国際教育交流センター 特任講師）  
黄 海洪（国際機構国際教育交流センター 特任学術政策研究員）  
姚 馨（国際機構国際教育交流センター 准教授）

**オンライン**（日本語のみ）3月（予定） **ゼミナール** 未定~3月末

〈キーワード〉外国人留学生、キャリア支援、就職活動（International Students, Career Support, Job-hunting）

〈概要〉外国人留学生に対してキャリア支援を行うにあたって、直面する種々の問題とそれに対する対応について学びます。  
〈目的〉外国人留学生の日本での就職の現状と課題を把握し、外国人留学生にキャリアサポートを行う上で必要な基本的な知識を身につけることを目的とします。

《問合先：国際機構 国際教育交流センター ✉career@ciece.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：オンライン研修：オンライン研修は前日までにお申し込みください。  
(<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=417Qo5BbM0-dFJYCO7eKYrJtm843MgNlIxtP70gzYXdUQ1U3Qk01RU83MONXSzFCWlVVCV1MxUjVGM4C4u>)  
オンデマンド配信：申込不要です。オンデマンド配信はCLE(キャリアセンター FD)に掲載します。》



**限定** 蛋白質研究所

### FD研修会

講師：各回によって異なる

**吹田** 隔月1回程度（日程未定）

〈キーワード〉教育、研究、蛋白質

〈概要〉従来の教育・研究活動を超えて、所内教員の教育・研究遂行能力を高めることを目的とし、学内外から様々な分野の研究者やFD担当専門員を招聘し、研修会を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《問合先：蛋白質研究所 庶務係 ✉tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催の約1ヶ月前に本局局構成員宛てメールにて通知予定です。》



### 障がい学生のキャリア支援【修学支援編】 ～社会移行を見据えた修学支援とキャリア支援～

講師：村田 淳（京都大学 学生総合支援機構 准教授）

**オンデマンド** ~2月末

〈キーワード〉就労支援、障がい学生支援、合理的配慮

〈概要〉障害者差別解消法（2016年4月施行）により、国公立大学では障がいのある学生に対する合理的配慮の提供が義務化され、修学上の障がい学生支援体制は整備されつつあります。しかし、このような障がいのある学生に対するキャリア・就職支援は、多くの大学において十分なノウハウがありません。就職活動そのものに対する支援のあり方だけでなく、障がいのある学生の社会進出のプロセスとして、総合的なキャリア支援の必要性について理解を深めます。

〈目的〉障がいのある学生（障がい特性のある学生を含む）の就職活動の支援について基本的な知識を身につけるとともに、修学支援のプロセスも含めた総合的なキャリア支援の必要性について考える機会とします。

《問合先：キャリアセンター ✉fd@career.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。オンデマンド配信はCLE(キャリアセンター FD)に掲載します。》



### 障がい学生のキャリア支援【就職支援編】 ～職場への定着を見据えた精神・発達障がい者の就労支援～

講師：池田 浩之（兵庫教育大学 教授）

**オンデマンド** ~2月末

〈キーワード〉就労支援、障がい学生支援、合理的配慮、精神障がい、発達障がい

〈概要〉精神障がい・発達障がいのある方の卒後の就職・就労支援に関する現状をお伝えしていきます。教育・医療・福祉・産業領域をまたぐ「働く」ための支援はどのようなものであるのか、対個人の支援から、対環境（企業）への支援まで、社会制度と合わせてご紹介いたします。講師は臨床心理学（認知行動療法）の専門であるため、心理的支援を中心にお伝えします。

〈目的〉障がいのある学生等、一般の就職活動とは違う形での就職活動が必要な学生の支援を行う上で必要な基本的な知識を身につけることを目的とします。

《問合先：キャリアセンター ✉fd@career.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。オンデマンド配信はCLE(キャリアセンター FD)に掲載します。》



### 障がい学生のキャリア支援【インターンシップ編】 ～精神・発達障がいのある大学生のためのインターンシップ～

講師：吉田 裕子（マザーシップキャリア支援研究所 所長）

**オンデマンド** ~2月末

〈キーワード〉インターンシップ、障がい学生支援、合理的配慮、精神障がい、発達障がい

〈概要〉精神・発達障がいのある大学生のキャリア支援において、学生が自身の障がい特性や就労準備性について自己理解を深めること、支援者が修学支援とは別の視点からどのような支援が必要かを知ることが重要です。そのために非常に有効な手段となる「インターンシップ」に焦点をあて、どのような社会資源があり、どのように実施され効果が検証されているのか、事例を中心にご紹介いたします。

〈目的〉障がいのある学生等、一般とは違う形での就職活動が必要な学生の支援を行う上で必要な基本的な知識を身につけるとともに、学外の関係機関との有機的な連携について考える機会となることを目的とします。

《問合先：キャリアセンター ✉fd@career.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。オンデマンド配信はCLE(キャリアセンター FD)に掲載します。》



※掲載内容は8月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドイ」(FD関係)にてご確認ください。



## 教育能力 開発プログラム

### 博士学生・ポスドクのキャリア支援【知識編】

講師：松尾 誠二(株式会社イノベーターズ・キャリア・サポート 代表取締役社長)



制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

オンデマンド ~2月末

〈キーワード〉博士、企業、就職活動、研究、インターンシップ

〈概要〉博士後期課程への進学を修了後のキャリアパスが不透明という理由で躊躇する学生が少なくありません。しかし、実態は必ずしもそうではありません。正しい情報を学生に伝えて、キャリア選択の幅を広げるべく、博士の意識、企業の考え、各種統計データを共有し、就活の実務や研究インターンシップ等のキャリア教育まで含めて学びます。  
〈目的〉博士学生・ポスドクの現在の就職状況を各種データに基づいて正しく理解し、研究活動とキャリア教育を両立させるための研究インターンシップについて知り、学生に還元できるようにすることを目的とします。

《問合せ先：キャリアセンター [fd@career.osaka-u.ac.jp](mailto:fd@career.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。オンデマンド配信はCLE(キャリアセンターFD)に掲載します。》

### 博士学生・ポスドクのキャリア支援【指導編】

講師：松尾 誠二(株式会社イノベーターズ・キャリア・サポート 代表取締役社長)



制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

オンデマンド ~2月末

〈キーワード〉博士、企業、就職活動、学生指導、コーチング・スキル

〈概要〉博士学生・ポスドクの就職活動に関しては情報が少なく、学生も苦勞する傾向があります。企業の博士採用に関する情報を基に、民間企業就職を希望する博士学生に対してアドバイスをする方法(コーチング・スキルやコミュニケーション・スキルを含む)を学びます。  
〈目的〉博士学生・ポスドクの就活の実情を知り的確なサポートができるようになり、博士進学が就職かを悩んでいる修士の学生に正しい情報を伝え、キャリア選択の幅を広げる支援ができることを目的とします。

《問合せ先：キャリアセンター [fd@career.osaka-u.ac.jp](mailto:fd@career.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。オンデマンド配信はCLE(キャリアセンターFD)に掲載します。》

### CLE講習会(入門編)

講師：外部講師

千葉 直也(D3センター 准教授)  
白井 詩沙香(D3センター 准教授)  
浦西 友樹(D3センター 教授)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育DX

〈概要〉本研修では、授業支援システムCLEでのコース作成方法の修得を目的に、CLEの基本操作について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《問合せ先：D3センターサイバーメディア教育研究部門 [ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp](mailto:ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLEにログイン後、CLEの「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへご参加ください。  
「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへの参加方法  
(<https://www.dropbox.com/s/ryf0rn2myxvvgk/instructions.pdf?dl=0>) コミュニティに入ってくださいと、CMCが提供しています講習会一覧が表示されますので、CLE講習会をクリックしていただき、表示されるページに掲載しております動画を視聴ください。  
※講義動画視聴後に、講習会ページに掲載のリンクから受講報告を行ってください。》

制限なし 2時間 日本語 オンデマンド



### CLE講習会(応用編)

講師：外部講師

千葉 直也(D3センター 准教授)  
白井 詩沙香(D3センター 准教授)  
浦西 友樹(D3センター 教授)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育DX

〈概要〉本研修では、授業支援システムCLEの応用機能について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《問合せ先：D3センターサイバーメディア教育研究部門 [ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp](mailto:ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLEにログイン後、CLEの「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへご参加ください。  
「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへの参加方法  
(<https://www.dropbox.com/s/ryf0rn2myxvvgk/instructions.pdf?dl=0>) コミュニティに入ってくださいと、CMCが提供しています講習会一覧が表示されますので、CLE講習会をクリックしていただき、表示されるページに掲載しております動画を視聴ください。  
※講義動画視聴後に、講習会ページに掲載のリンクから受講報告を行ってください。》

制限なし 2時間 日本語 オンデマンド



### オンラインビデオ教材作成法(Echo編)

講師：浦西 友樹(D3センター 教授)

浦田 悠(全学教育推進機構 准教授)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉オンライン授業、ICT活用、アクティブ・ラーニング

〈概要〉大阪大学の教職員であれば無料で使用できるecho360社の講義収録配信システムを用いれば、機材を設置している教室もしくはお手持ちのパソコンで、手軽にオンラインビデオ教材を作成・配信することができます。また、専用のアプリケーションとウェブカメラ(内蔵or外付け)を使えば、パソコン画面とカメラ映像の2画面を同時に収録・配信することも可能です。現在、このシステムは、オンライン授業はもちろん、予習や復習、出張時等の授業のオンライン化、補講での活用その他、部局や研究室でのオンライン講習や特別な配慮が必要な学生のための配信等、学内で様々な形で活用されています。本セミナーでは、ご自身のパソコンで実際に映像教材を作成する方法を学び、授業等での活用方法をご検討いただけます。

※受講の際は(可能であればウェブカメラ付の)パソコン(WindowsもしくはMac)および大阪大学個人ID・パスワードをご準備ください。

※ご自身のCLEのコースをお持ちでない教職員の方は、別途Echo360サポート窓口([echo360@ml.office.osaka-u.ac.jp](mailto:echo360@ml.office.osaka-u.ac.jp))までご連絡ください。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 [tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前の申込は不要です。CLEにログイン後、CLEの「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。詳細は全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト([https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd\\_seminar/](https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/))をご参照ください。》

制限なし 1.5時間 日本語 オンデマンド



### アクティブ・ラーニング【基礎編】

講師：村上 正行(全学教育推進機構 教授)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉アクティブ・ラーニング、教育技法

〈概要〉アクティブ・ラーニングとは、学生の学習意欲の向上や汎用的能力の育成に有効な教授・学習法の総称です。本研修では、大学におけるアクティブ・ラーニングの導入背景やインストラクショナル・デザインの基礎、対面授業やオンライン授業に活用できるアクティブ・ラーニングの手法について学び、自身の授業での活用について考えていただくことを目的としています。

※本研修は講義をメインとしております。「アクティブ・ラーニング【実践編】」では、本研修を受講したうえで、参加者自身で設計したアクティブ・ラーニングを取り入れた授業実践について議論します。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 [tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前の申込は不要です。CLEにログイン後、CLEの「FDプログラム動画教材」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。詳細は全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト([https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd\\_seminar/](https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/))をご参照ください。》

制限なし 1時間 日本語 オンデマンド



- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は8月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドアイ」(FD関係)にてご確認ください。



## 教育能力 開発プログラム

### シラバスの書き方【基礎編】

講師：長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉シラバス、授業設計、目的、目標、スケジュール、評価

〈概要〉シラバスは、授業内容の紹介だけでなく、授業の設計図として学生の学びを効果的に促進するための重要なツールです。本セミナーでは、授業の指針として学習のために活用できるようなシラバスの作成方法について説明します。特に、授業の目的や目標、内容設定、評価方法を作成する際のポイントについて詳しく解説します。なお、本セミナーは令和6年度から導入された新フォーマットにも対応しています。  
※本セミナーは、「シラバスの書き方【実践編】」の講義部分のみを抜粋した内容です。ワークを交えながら実践的に学習したい場合は、「シラバスの書き方【実践編】」の受講をおすすめします。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ [tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前の申込は不要です。CLE にログイン後、CLE の「FD プログラム動画教材」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。詳細は全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト ([https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd\\_seminar/](https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/)) をご参照ください。》



制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

### 学習評価

講師：浦田 悠(全学教育推進機構 准教授)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉授業・学習、評価、成績評価

〈概要〉学習評価とは、授業の到達目標の達成度合いを測定することです。本セミナーでは、学生の学習を適切に評価し、さらなる学習を促すために、学習評価方法を身につけます。本学で推奨しているブレンDED授業を取り入れた授業における学習評価についても扱います。セミナーはオンデマンド形式で実施されます。参加者はご自身の担当している授業のシラバス（どれか1つ）をお手元にご用意いただき、受講ください。セミナーを受講後、必要に応じて修正いただいたシラバスの成績評価欄を提出ください。授業を担当されていない場合は、今後担当する予定のある授業を想定して送付ください。詳細な情報はオンデマンド教材においてお伝えいたします。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ [tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前の申込は不要です。CLE にログイン後、CLE の「FD プログラム動画教材」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。詳細は全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト ([https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd\\_seminar/](https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/)) をご参照ください。》



制限なし 3時間 日本語 オンデマンド

### 授業における生成 AI の活用法【基礎編】

講師：長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉生成AI、学習評価、ICT活用

〈概要〉生成AIは、その高い自律性と汎用性から、様々な用途に活用できるツールです。しかし、生成AIはまだ発展途上の技術なので、解決すべき課題や問題が残されています。そのため、教育において生成AIを利用する際には、その長所と短所を理解し、慎重に運用することが重要です。そこで本FDセミナーでは、生成AIの教育利用を検討している教員を対象に、生成AIの基礎知識や利用時の注意事項について解説します。  
※「授業における生成AIの活用法【発展編】」においては、生成AIに関する最新情報や具体的な活用方法について紹介します。本セミナーは生成AI初心者向けの内容なので、より高度な活用方法について学びたい場合は、【発展編】の受講をおすすめします。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ [tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前の申込は不要です。CLE にログイン後、CLE の「FD プログラム動画教材」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。詳細は全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト ([https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd\\_seminar/](https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/)) をご参照ください。》



制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

定員

受講時間

使用言語

研修形式

### 人間科学研究科：行動学系若手セミナーシリーズ Seminar Series (Human Sciences) : Emerging Scholars in Behavioral Sciences

講師：萩原 広道(人間科学研究科 講師)

吹田 10月2日15:30-16:40  
12月4日15:30-16:40  
1月8日15:30-16:40  
2月5日15:30-16:40  
3月12日15:30-16:40

〈キーワード〉研究交流、学際教育、若手研究者、研究発表  
(Research exchange, Interdisciplinary education, Young researchers, Research presentation)

〈概要〉若手研究者が、分野の垣根を越えて「気軽に」研究発表および議論できる場を定期的に設けることで、助教・ポスドク・大学院生などが相互に交流し、自身の研究分野・研究テーマを相対的に捉えたり、他者の研究分野・研究テーマの要点をよりの確に捉えたりできるようになることを目指します。本セミナーシリーズでは特に、隣接分野同士での学際的な議論の場を設けるために、人間科学研究科の行動学系に焦点を当てて、毎回異なる登壇者を招き、研究に関するトークと議論を実施します。

《問合先：人間科学研究科 行動生態学講座 発達認知科学研究分野 ☐ [hiromichi.h.hus@osaka-u.ac.jp](mailto:hiromichi.h.hus@osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：申込不要です。会場（本館1階インターナショナルカフェ）に直接お越しください。事前に情報が必要な方は担当（萩原）までご連絡ください。》

各回 30名 1.17時間 日本語 English ※実施回による 対面



## 研究能力 開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。

◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

※掲載内容は8月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドアイ」(FD関係)にてご確認ください。

定員

受講時間

使用言語

研修形式

### STEM コンピューティング・プラットフォーム Maple 講習会

講師：外部講師  
小林 聖人(D3センター 助教)

オンライン 10月24日 13:00-15:00

〈キーワード〉数式処理、数値解析、Maple、ハンズオンセミナー

〈概要〉本研修では、D3センターが全学ライセンスを購入しているMapleの基本操作の修得を目的に、Mapleの基本構成と原理、Mapleの基本操作方法、グラフの描画、微積分計算と積分変換、その他の機能について学びます。

《問合先：D3センター サイバーメディア教育研究部門 ☐ [ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp](mailto:ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：詳細はキャンパスライセンス/ Maple のホームページで開催を告知します。  
(<https://www.cmc.osaka-u.ac.jp/edu/license/maple/guide1.html>) ※変更になる可能性があります。》



100名程度 2時間 日本語 オンライン

### 限定 文学部 研究教育フォーラム

講師：未定(本研究科の名誉教授及び現員教員)

豊中 11月13日 15:30-17:50 (休憩時間等20分含む)

〈キーワード〉研究、教育

〈概要〉本研究科の名誉教授および本研究科等の教員によるそれぞれの専門分野に関する研究発表や社学連携活動の講演と座談会を行い、それについて質疑応答を通じて、人文学研究の理解を深めます。本研究科教員の研究遂行能力を開発するとともに、研究成果を教育の場や社学連携の場に効果的に活かすための方法を開発します。

《問合先：人文学研究科 豊中事務部 庶務係 ☐ [jinbun-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:jinbun-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：研究科教員宛てに通知する開催案内に沿って申し込みを行ってください。》

70名 2時間 日本語 対面

### STEM コンピューティング・プラットフォーム Mathematica 講習会

講師：外部講師  
小林 聖人(D3センター 助教)

豊中 オンライン 11月14日13:00-15:00

〈キーワード〉数式処理、数値解析、Mathematica、ハンズオンセミナー

〈概要〉本研修では、D3センターが全学ライセンスを購入している Mathematica の基本操作の修得を目的に、Mathematicaの基本構成と原理、Mathematicaの基本操作方法、グラフの描画、微積分計算と積分変換、その他の機能について学びます。

《問合先：D3センター サイバーメディア教育研究部門 ☐ [ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp](mailto:ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：詳細はキャンパスライセンス/ Mathematica のホームページで開催を告知します。  
(<https://www.cmc.osaka-u.ac.jp/edu/license/math/guide1.html>) ※変更になる可能性があります。》



各形式 100名程度 2時間 日本語 対面 オンライン



## 研究能力 開発プログラム

### 特許入門セミナー～研究成果を守るための第一歩～

講師：榊田 剛(知的基盤総合センター 特任教授、弁理士)



20名 3時間 日本語 オンライン

**オンライン** 12月20日13:00-16:15 (途中15分休憩)

〈キーワード〉知的財産、特許、知的創造サイクル、出願手続

〈概要〉特許に関する基本的内容を学びます。その後、特許権を取得するメリット及び取得するための手続きについて学習します。特許に関する知識を有していない人でも、特許とは何か、特許権を取得するメリット、及び特許出願の一通りの手続きについて理解することを目的とします。

《問合せ先：知的基盤総合センター ☐s.mukai.iprism@osaka-u.ac.jp》

《申込方法：電子メールで、連絡先メールアドレス(s.mukai.iprism@osaka-u.ac.jp)まで、  
①氏名②所属③大阪大学個人IDを明記の上で参加希望の旨をご連絡ください。》

### 研究・教育のための工作技術講習会－ガラス工作基礎

講師：坂口 明(コアファシリティ機構 技術専門員)

古谷 浩志(コアファシリティ機構 准教授)

最大5名程度 計15時間 日本語 対面

**豊中** 2日間 (2~3月期開催)

〈キーワード〉研究・教育用ものづくり実習、技術実習、ガラス加工技術、基礎編、2日間コース

〈概要〉研究・教育を行う上で必要なガラス実験器具を自ら製作するためのガラス工作技術に関して、その基礎技術を2日間の実習を通して集中的に習得します。初めてガラス工作に携わる方も受講いただけます。

《問合せ先：コアファシリティ機構 ガラス工作メインショップ ☐glass\_mainshop@reno.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：2~3月期の開催に先立ち部局通知を行います。各部局を通してお申し込みください。  
コアファシリティ機構のHPにおいても開催告知しますのでご参照ください。》

《備考：別途材料費がかかります。詳細はHP(www.corefc.osaka-u.ac.jp)をご確認ください。》

### 研究・教育のための工作技術講習会－ガラス工作アドバンス

講師：坂口 明(コアファシリティ機構 技術専門員)

古谷 浩志(コアファシリティ機構 准教授)

最大5名程度 計15時間 日本語 対面

**豊中** 2日間 (2~3月期開催)

〈キーワード〉研究・教育用ものづくり実習、技術実習、ガラス加工技術、アドバンスコース、2日間コース

〈概要〉研究・教育を行う上で必要なガラス実験器具を自ら製作するために必要な、難度の高いガラス工作技術を特に中～上級者向けにアレンジし、2日間の実習を通して集中的に習得します。ガラス工作未経験の方、僅かの経験だけの方は、基礎編を受講の上で本アドバンスコースを受講ください。

《問合せ先：コアファシリティ機構 ガラス工作メインショップ ☐glass\_mainshop@reno.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：2~3月期の開催に先立ち部局通知を行います。各部局を通してお申し込みください。  
コアファシリティ機構のHPにおいても開催告知しますのでご参照ください。》

《備考：別途材料費がかかります。詳細はHP(www.corefc.osaka-u.ac.jp)をご確認ください。》

### 研究・教育のための工作技術講習会－機械工作

講師：林 樹一郎(コアファシリティ機構 技術専門職員)

宮本 浩之(コアファシリティ機構 技術専門員)

古谷 浩志(コアファシリティ機構 准教授)

最大8名程度 計30時間 日本語 対面

**豊中** 4日間 (2~3月期開催)

〈キーワード〉研究・教育用ものづくり実習、技術実習、機械加工技術、3D-CADデザイン、4日間コース

〈概要〉研究・教育を行う上で必要となる独自の実験機器や実験器具等を、自ら設計・製作するための工作・設計技術を4日間の実習を通して集中的に習得します。旋盤・フライス盤・ボール盤・レーザー加工機など一連の機械加工装置や3D-CAD設計等の実習を行い、必要な基本工作技術のほぼ全てを学びます。

《問合せ先：コアファシリティ機構 工作オープンショップ ☐kousaku\_techcourse@reno.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：2~3月期の開催に先立ち部局通知を行います。各部局を通してお申し込みください。  
コアファシリティ機構のHPにおいても開催告知しますのでご参照ください。》

《備考：別途材料費がかかります。詳細はHP(www.corefc.osaka-u.ac.jp)をご確認ください。》

**限定** 生命機能研究科 (Graduate School of Frontier Biosciences)  
(兼任教員を含むFBSの研究員の構成員であれば、他部局所属者も可)

100名まで 0.75時間 日本語 English 対面 オンライン

### 生命機能研究科コロキウム (FBS Colloquium)

講師：マイハンダイ掲載の年間予定表に準ずる

**吹田** **オンライン** 週1回 火曜日 12:15-13:00

〈キーワード〉生命科学、生命のしくみ、融合研究 (Life science、Mechanisms of life、Interdisciplinary research)

〈概要〉週1回、各研究室が持ち回りで開催している研究セミナーです。最新の研究紹介、話題提供が行われ、お互いに議論することで研究科が目指す分野を超えた「融合」研究の熟成の場となっています。

《問合せ先：生命機能研究科 企画広報室 ☐kikaku.fbs@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：(kikaku.fbs@office.osaka-u.ac.jp)までお申し込みください。》

### 機械工作スチューデントショップ利用のための安全講習会

講師：林 樹一郎(コアファシリティ機構 技術専門職員)

宮本 浩之(コアファシリティ機構 技術専門員)

古谷 浩志(コアファシリティ機構 准教授)

最大10名程度 1時間 日本語 対面

**豊中** 週1回程度開催

〈キーワード〉安全講習会、研究・教育のためのセルフものづくり、開放工作室の利用

〈概要〉機械工作スチューデントショップ(開放工作室)では、研究者自身が様々な汎用工作機械やNC工作機器、3Dプリンタや3D計測器を使って研究・教育を行うために必要な“ものづくり”を行うことができます。本講習は機械工作スチューデントショップを利用するために受講が必要な安全講習会です。受講後に同スチューデントショップ利用のための許可証の発行手続きを行ってください。

《問合せ先：コアファシリティ機構 工作オープンショップ ☐anzen\_workshop@reno.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：コアファシリティ機構 工作支援部門のHP(www.corefc.osaka-u.ac.jp)より、  
①トップページの右上のメニューから「サポートについて」を選択  
②ポップアップする写真の中から「安全講習会」を選択  
③上の安全講習会のページに到達します  
開催日程を確認の上でお申し込みください。週1回程度の割合で開催しています。》

**限定** 情報科学研究科 (Graduate School of Information Science and Technology)

各回20名程度 各回1時間 日本語 English 対面

### IST ランチセミナー (IST Lunch Seminar)

講師：情報科学研究科 教員 (Faculty Members of IST)

Boost 学生 (Boost Students)

ゲスト講師 (Guest Lecture)

**吹田** 週1回程度 12:00-13:00

〈キーワード〉研究力向上、融合研究、共同研究 (Research Enhancement, Interdisciplinary research, Collaborative Research)

〈概要〉情報科学研究科内の融合研究の促進を目的とし、各研究者の研究内容や課題を共有し、ディスカッションします。

《問合せ先：情報科学研究科 研究戦略企画室 ☐ura@ist.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：研究科内構成員にメール等でアナウンスします。》

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は8月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



## 研究能力 開発プログラム

**限定** 微生物病研究所 (Research Institute for Microbial Diseases)  
免疫学フロンティア研究センター (Immunology Frontier Research Center)

### 微研集談会 (Biken Monthly Seminar)

講師：各回により異なる

**吹田** 12、1月を除く毎月第4火曜日 16:00-17:00

〈キーワード〉感染症、免疫学、がん、ゲノム解析学 (Infection, Immunity, Cancer, Genomics)

〈概要〉微生物病研究所、IFReCに所属する若手教職員を中心に、最新の研究成果について発表と、質疑応答を行います。本研究セミナーは医学系研究科単位認定セミナーでもあり、若手研究者としての大学院生教育目的も併せ持ちます。分野を超えた研究者の交流により、研究に対する視野を広げるとともに、活発な意見交換による研究者同士の切磋琢磨促進を目的とする研究セミナーです。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室》  
✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp

《申込方法：各回の前月に微生物病研究所と免疫学フロンティア研究センターの各分野及び、医学系研究科に開催案内を通知します。受講希望者は事前申込なしに当日直接受講できます。FD 新任研修としての受講希望者は、別途メールにて上記担当部署までお申し込みください。》



### アドバンストセミナー (Advanced Seminar Series)

講師：各回により異なる

**吹田** オンライン 3月を除く毎月1回 16:00-17:00

〈キーワード〉感染症、免疫学 (Infection, Immunity)

〈概要〉学外から招聘した感染症学・免疫学分野の第一線の研究者によるレクチャーを開催します。基本的に月1回です。本セミナーは大学院高度副プログラム及び医学系研究科単位認定セミナーであり、若手研究者としての大学院生も対象です。各分野エキスパートの研究者による専門的なレクチャーにより、大学院生や若手研究者に感染症学・免疫学に関する最新の知識を得ることを目的とします。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室》  
✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp

《申込方法：各回の前月に微生物病研究所と免疫学フロンティア研究センターの各分野及び、医学系研究科、部局に開催案内を通知します。受講希望者は事前申込なしに当日直接受講できます。FD 新任研修としての受講希望者は、別途メールにて上記担当部署までお申し込みください。》



### 研究・教育のための3D-CAD入門講習会

講師：林 樹一郎(コアファシリティ機構 技術専門職員)  
古谷 浩志(コアファシリティ機構 准教授)

**豊中** 毎月1回程度開催

〈キーワード〉3D-CADによるデザイン実習、3D設計、3Dプリントデータ作成、入門編

〈概要〉実験機器や実験器具の設計、3Dプリントモデルの作成を行う際に用いる3D-CADの入門講習会です。代表的な3D-CADであるAutodesk社Fusion®を対象として、基本的な操作・デザイン方法を各自で3D-CADを操作して習得していきます。※参加者は、Fusion®をインストールしたPCとマウスを持参してください (Fusion®は教育機関ライセンスで無償利用が可能です)。

《問合せ先：コアファシリティ機構 工作オープンショップ》  
✉ kousaku\_techcourse@reno.osaka-u.ac.jp

《申込方法：毎月1回程度開催しております。コアファシリティのHP(www.corefc.osaka-u.ac.jp)にて開催日程を確認し、HPを通して受講をお申し込みください。》



**限定** 情報科学研究科

### IST ネットワーキングイベント

講師：第一線で活躍する研究者

**吹田** 隔月の開催を予定 **オンライン** 当講師の都合でオンライン開催もあり得る

〈キーワード〉研究力向上、融合研究

〈概要〉情報科学研究科の教職員及び学生を対象とした、研究科外の関連研究者との交流イベントになります。関連のトピックの概観、共同研究のシーズ探し、研究の深め方、視野の広げ方を学ぶことを目的としています。

《問合せ先：情報科学研究科 研究戦略企画室》  
✉ ura@ist.osaka-u.ac.jp

《申込方法：毎回、研究科の教職員及び学生宛てに受講に係る通知を予定しています。》



**限定** 蛋白質研究所

### 蛋白研コロキウム

講師：各回によって異なる

**吹田** 又は **オンライン** 隔月1回程度 (日程未定)

〈キーワード〉蛋白質分子、生体分子、構造生物学、データ科学、異分野融合研究

〈概要〉蛋白質研究所をハブとした大阪大学他部局との連携研究を促進することを目的とし、蛋白質を含む生体分子に関連する講演を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係》  
✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp

《申込方法：開催の約1ヶ月前に本部局構成員宛てメールにて通知予定です。》



### Nature Masterclasses On-demand [A]- 科学プレゼンテーションの技術向上 (Advancing Your Scientific Presentations)

講師：外部講師(監修元のSpringer Nature社が選任する学術誌の編集者等)

**オンライン** ~2月9日

〈キーワード〉プレゼンテーション技術、ナラティブ技術、研究ストーリー、スライドデッキ、口頭発表 (Presentation Skills, Narrative Techniques, Research Story, Slide Deck, Oral Presentations)

〈概要〉科学プレゼンテーションの質を向上させるための技術を学びます。具体的には、ナラティブ技術を適用してプレゼンテーションの基礎となる研究ストーリーを構築する方法、プレゼンテーションをサポートし、強化するスライドの作成方法、および当日のプレゼンテーションの準備方法について学びます。本コースは4モジュールで構成され、モジュール単位で受講できます。詳細はマイハンダイ新任教員研修プログラム(プログラム計画書)にてご確認ください。

《問合せ先：研究推進部 研究企画課 研究企画係》  
✉ research-support@office.osaka-u.ac.jp

《申込方法：マイハンダイ上 (http://osku.jp/v0734) での利用登録及び Forms (https://forms.office.com/r/dXWvZrbDaD) での受講完了報告が必要です。》



### Nature Masterclasses On-demand [B]- 説得力のある助成金申請書の執筆方法 (Persuasive Grant Writing)

講師：外部講師(監修元のSpringer Nature社が選任する学術誌の編集者等)

**オンライン** ~2月9日

〈キーワード〉助成金申請書の執筆、研究助成金、研究資金提供者、助成金申請、ナラティブ技術 (Grant Writing, Research Grants, Research Funders, Grant Applications, Narrative Skills)

〈概要〉質の高い助成金申請書を執筆する方法を学びます。具体的には、資金提供者を理解することにより研究課題を資金提供者の目的と要件に合わせる方法、ナラティブ技術を適用して助成金申請書をより有益で説得力のあるものにする方法を学びます。本コースは3モジュールで構成され、モジュール単位で受講できます。詳細はマイハンダイ新任教員研修プログラム(プログラム計画書)にてご確認ください。

《問合せ先：研究推進部 研究企画課 研究企画係》  
✉ research-support@office.osaka-u.ac.jp

《申込方法：マイハンダイ上 (http://osku.jp/v0734) での利用登録及び Forms (https://forms.office.com/r/dXWvZrbDaD) での受講完了報告が必要です。》



### Nature Masterclasses On-demand [C]- 論文投稿から出版までの流れの理解 (Publishing a Research Paper: 2nd Edition)

講師：外部講師(監修元のSpringer Nature社が選任する学術誌の編集者等)

**オンライン** ~2月9日

〈キーワード〉論文投稿、編集ポリシー、編集プロセス、査読、原稿の改訂、カバーレター、回答レター (Manuscript Submission, Editorial Policies, Editorial Process, Peer Review, Manuscript Revisions, Cover Letter, Rebuttal Letter)

〈概要〉論文の出版を成功させる可能性を高めるために、論文投稿から出版までの流れを理解し、各ステップに必要なスキルと知識を学びます。具体的には、論文投稿後の原稿の流れ、デスクレビュー、査読プロセス、査読後の編集判断、原稿の修正方法、回答レターの作成、リジェクト後の対応、受理後の手続き等について学びます。本コースは2モジュールで構成され、モジュール単位で受講できます。詳細はマイハンダイ新任教員研修プログラム(プログラム計画書)にてご確認ください。

《問合せ先：研究推進部 研究企画課 研究企画係》  
✉ research-support@office.osaka-u.ac.jp

《申込方法：マイハンダイ上 (http://osku.jp/v0734) での利用登録及び Forms (https://forms.office.com/r/dXWvZrbDaD) での受講完了報告が必要です。》



※掲載内容は8月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD 関係)にてご確認ください。



## 研究能力 開発プログラム

### Nature Masterclasses On-demand [D]- 効果的な論文の執筆方法 (Writing a Research Paper: 2nd Edition)

講師：外部講師(監修元の Springer Nature 社が選任する学術誌の編集者等)

**オンデマンド** ~2月9日

〈キーワード〉アカデミックライティング、ナラティブ技術、ライティングスタイル、研究論文の構造、論文投稿の準備  
(Scientific Writing, Narrative Skills, Writing Style, Research Paper Structure, Submission Preparation)

〈概要〉効果的な研究論文を執筆するために役立つ技術を学びます。具体的には、ナラティブ技術を適用して説得力のある論文を執筆する方法、アカデミックライティングのスタイルの原則、研究論文を構成する各セクションの特徴と執筆方法、論文の最終仕上げと投稿準備について学びます。本コースは5モジュールで構成され、モジュール単位で受講できます。詳細はマイハンダイ新任教員研修プログラム(プログラム計画書)にてご確認ください。

《問合せ先：研究推進部 研究企画課 研究企画係》  
✉ [research-support@office.osaka-u.ac.jp](mailto:research-support@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：マイハンダイ上(<http://osku.jp/v0734>)での利用登録  
及び Forms(<https://forms.office.com/r/dXWvZrbDaD>)での受講完了報告が必要です。》



制限なし 各モジュール 2-5.5時間  
(合計14.5時間)  
※モジュール単位で  
受講可能

### オープンサイエンス時代における 研究データマネジメント基礎

講師：甲斐 尚人(D3センター 准教授)

**オンデマンド** ~3月31日

〈キーワード〉研究データマネジメント、オープンサイエンス、研究データ基盤、研究公正、研究データ管理計画、  
大阪大学研究データポリシー

〈概要〉世界的なオープンサイエンスの潮流によって、体系的かつ組織的な研究データマネジメントの重要性やそのあり方が近年注目されています。競争的資金においても、研究データ管理計画(DMP)の作成や研究成果のオープンアクセスが求められつつあり、2025年度より新たに公募する対象研究費については、論文及び根拠データの即時オープンアクセスを義務づけるよう決定されました。このような状況を踏まえ、本研修では、オープンサイエンスの動向や本学の研究データポリシーの解説を行うとともに、研究データライフサイクルの各段階の留意点や本学の研究データ基盤整備の状況等について説明します。

《問合せ先：研究推進部 研究企画課 研究企画係》  
✉ [research-support@office.osaka-u.ac.jp](mailto:research-support@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前申込不要([https://www.cle.osaka-u.ac.jp/ultra/courses/\\_232824\\_1/outline](https://www.cle.osaka-u.ac.jp/ultra/courses/_232824_1/outline))  
受講完了には、確認問題とアンケートの回答が必須です。》



制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

### 人文学研究者必見！ テキストデータと TEI で描く新たな研究ビジョン

講師：吉賀 夏子(人文学研究科 准教授)  
甲斐 尚人(D3センター 准教授)  
菅原 裕輝(人文学研究科 講師)  
神崎 隼人(附属図書館 特任研究員)  
田畑 智司(人文学研究科 教授)

**オンデマンド** ~3月31日

〈キーワード〉研究データ管理、TEI、テキストデータ

〈概要〉本研修は、研究データの公開の重要性が高まる中、その管理と利活用に関して人文社会科学系の研究者および学生が直面する課題に焦点を当て、知識と実践的スキルを提供することを目的としています。本動画では、研究者が小説や詩など様々なスタイルのテキストデータを分析する際に役立つTEI(Text Encoding Initiative)と呼ばれるデジタルヒューマニティーズ技術の基本や研究への応用例について紹介します。さらに、初心者向けのハンズオン2種類でTEIデータの作り方や簡単なテキスト分析を行います。

《問合せ先：グローバル日本学教育研究拠点》  
✉ [gjs@mloffice.osaka-u.ac.jp](mailto:gjs@mloffice.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前申込不要です。受講 URL ([https://www.cle.osaka-u.ac.jp/ultra/courses/\\_208635\\_1/outline](https://www.cle.osaka-u.ac.jp/ultra/courses/_208635_1/outline))  
受講完了の際に、確認問題とアンケートの回答が必須です。》



制限なし 1時間 日本語 オンデマンド



### 人文学研究者必見！研究データ管理ことはじめ - OUKA で始める IIIF 画像の公開と利活用 -

講師：吉賀 夏子(人文学研究科 准教授)  
甲斐 尚人(D3センター 准教授)  
菅原 裕輝(人文学研究科 講師)  
神崎 隼人(附属図書館 特任研究員)  
田畑 智司(人文学研究科 教授)

**オンデマンド** ~3月31日

〈キーワード〉研究データ管理、OUKA、IIIF、画像

〈概要〉本研修は、研究データの公開の重要性が高まる中、その管理と利活用に関して人文社会科学系の研究者および学生が直面する課題に焦点を当て、知識と実践的スキルを提供することを目的としています。特に、デジタル・ヒューマニティーズの知見を活かし、研究での需要が高いと考えられる高精細な資料画像の閲覧と公開をIIIF(トリプルアイエフ)と呼ばれる国際的な枠組みを用いて行う手法および応用可能性について学びます。実際のケーススタディとして、OUKAに登録された懐徳堂関連文書を利用した閲覧方法および画像公開プロセスを紹介します。

《問合せ先：グローバル日本学教育研究拠点》  
✉ [gjs@mloffice.osaka-u.ac.jp](mailto:gjs@mloffice.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前申込不要です。受講 URL ([https://www.cle.osaka-u.ac.jp/ultra/courses/\\_207560\\_1/outline](https://www.cle.osaka-u.ac.jp/ultra/courses/_207560_1/outline))  
受講完了の際に、確認問題とアンケートの回答が必須です。》



制限なし 1時間 日本語 オンデマンド



### 倫理審査はなぜ必要？ 人を対象とする研究の「倫理原則」基礎知識

講師：鈴木 美香(研究オフィス 講師)

**オンデマンド** ~3月31日

〈キーワード〉人を対象とする研究、倫理指針、倫理原則、倫理審査委員会

〈概要〉昨今、研究分野を問わず、人を対象とする研究について学会発表・論文投稿時に倫理審査委員会の承認を求められるケースが増えています。そもそも倫理審査はなぜ必要なのでしょうか。この研修では、人を対象とする研究をする際に知っておきたい「倫理原則」や関連指針を紹介し、理系・文系問わずよりよい研究の実施に向けたセルフチェックができることを目的とします。

《問合せ先：研究推進部 研究推進課 総務係》  
✉ [research-admin@office.osaka-u.ac.jp](mailto:research-admin@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：受講方法①CLE 授業支援システムにアクセス(<https://www.cle.osaka-u.ac.jp/>)  
②自身の阪大IDとPWでログイン後、左側のリストパネルにある「コミュニティ」をクリック  
③上の「コミュニティを検索」に「倫理」を入力  
④「倫理審査はなぜ必要？人を対象とする研究の「倫理原則」基礎知識」をクリック  
⑤左側のリストパネルにある「コンテンツ」をクリック  
⑥「研修動画」をクリックして視聴  
⑦視聴完了後、理解度チェック、受講確認フォームを回答》



制限なし 0.58時間 日本語 オンデマンド

### オープンアクセスを巡る状況と 大阪大学におけるオープンアクセス支援

講師：図書館職員

**オンデマンド** ~3月31日

〈キーワード〉オープンアクセス、論文掲載料、転換契約、粗悪学術誌・ハゲタカジャーナル、機関リポジトリ、  
大阪大学オープンアクセス方針

〈概要〉電子ジャーナルの価格高騰、論文掲載料(APC)を必要とするオープンアクセス誌やハイブリッド誌の広がり、粗悪学術誌(いわゆるハゲタカジャーナル)の出現など、大きく変わりつつある学術情報流通、とりわけオープンアクセスを巡る動向を学びます。加えて、大阪大学におけるオープンアクセスへの支援内容を理解します。

《問合せ先：附属図書館 図書館企画課 企画係》  
✉ [tosyo-kikaku-kikaku@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tosyo-kikaku-kikaku@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前申込不要です。  
受講 URL ([https://www.library.osaka-u.ac.jp/news/20250701a\\_common/](https://www.library.osaka-u.ac.jp/news/20250701a_common/))  
大阪大学 CLE にて動画を配信します。受講後所定のフォームから受講報告をしていただきます。》



制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は8月末時点の  
情報です。  
最新情報は各開催部局に  
お問い合わせいただく  
か、学内ポータルサイト  
「マイハンダイ」(FD 関  
係)にてご確認ください。



## 研究能力 開発プログラム

**限定** 微生物病研究所 (Research Institute for Microbial Diseases)  
免疫学フロンティア研究センター (Immunology Frontier Research Center)

## 不正防止について (Prevention of research misconduct and misuse of research funds)

講師：微生物病研究所 所長

**オンデマンド** ~3月31日

〈キーワード〉研究不正、研究倫理、捏造、改ざん、剽窃、不正使用  
(research misconduct, research ethics, fabrication, falsification, plagiarism, misuse)

〈概要〉本研修は「微生物病研究所・IFReC 諸施設の利用に関する合同オリエンテーション」における1メニューであり、微生物病研究所、IFReC に所属する全教職員・学生に対し、微生物病研究所所長によるオンラインレクチャー(オンデマンド)が行われます。また、5月以降の新任者にも、オンライン視聴を義務付けます。研究不正について、特に研究倫理不正と研究費不正にわけて解説をし、研究者のみならず、研究に関わる全ての学生・職員に対し、研究不正に手を染めないよう改めて注意を喚起することで、研究不正を未然に防止することを目的とします。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室》  
✉ [suishin@biken.osaka-u.ac.jp](mailto:suishin@biken.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：新任着任時に随時、当人に通知します。受講希望者は、分野事務担当者を通じて申込フォームを記入し、メールにて上記担当部署までお申し込みください。申込者は随時大阪大学 CLE にて動画を視聴します。》

制限なし 0.33時間 日本語 オンデマンド  
English

## 大阪大学の歴史

講師：菅 真城(ミュージアム・リンクス 教授)

**オンライン** 11月5日 15:10-16:40

〈キーワード〉大阪大学、大阪帝国大学、大阪外国語大学

〈概要〉本研修は、自己が所属する大阪大学の歴史について基本的知識を身につけることを目的とします。前身諸学校を含む大阪大学の歴史について、重要トピックを取り上げ、時系列に学びます。また、歴史を明らかにするうえでの資料の重要性について学びます。

《問合せ先：総務部 総務課 文書法規係》  
✉ [soumu-soumu-bunshyohouki@office.osaka-u.ac.jp](mailto:soumu-soumu-bunshyohouki@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：ICHO 掲示板でお知らせしますので、①所属、②職名、③氏名(フリガナ)、④個人ID を上記アドレスあてにお知らせください。》



50名 1.5時間 日本語 オンライン

## 新任教員向け講義+適塾見学会~阪大の歴史を辿る~

講師：島田 昌一(医学系研究科 教授)

松永 和浩(ミュージアム・リンクス 准教授)

**適塾** 11月11日 (現地:大阪市中央区北浜)

〈キーワード〉適塾、適塾記念センター、適塾記念会、阪大の歴史、適塾顕彰活動、精神的源流、文化財

〈概要〉本学の教職員を対象として、「適塾と大阪大学の繋がり」に関する歴史的・精神認識や、適塾記念センター及び適塾記念会の顕彰事業の内容を啓発するために実施するものです。

- ・講義 (島田 昌一) 30分
- ・適塾見学 (松永 和浩) 30分

〈目的〉適塾が阪大の精神的源流とされる歴史認識や精神的意義を阪大構成員に伝え、理解いただくこと。  
・適塾記念センター・適塾記念会が適塾顕彰活動を広く学内に啓発し、理解いただくこと。  
・適塾と実際に触れていただき、身近に感じていただくこと。

《問合せ先：共創推進部 社会連携課 総務係》  
✉ [kyousou-syakai-soumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kyouso-syakai-soumu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：ICHO に掲載、あるいは各部署にメールにて募集要項・チラシなどを配付し、マイハンダイ申込フォームにて参加を募ります。》

20名 1時間 日本語 対面

## 阪大ブランド発信地としての大学博物館

講師：辻野 博文(ミュージアム・リンクス 准教授)

**豊中** 12月8日

〈キーワード〉大学博物館、アウトリーチ、研究、教育

〈概要〉大阪大学総合学術博物館では、展示を通じて大学の源流や大阪大学で行われた研究を社会に発信し、また展覧会・サイエンスカフェを研究教育のアウトリーチや成果発表の場として活用しています。本プログラムではアウトリーチや成果発表の場を通して、阪大ブランドを社会に発信する方法を考えます。

《問合せ先：共創推進部 社会連携課 総務係》  
✉ [kyousou-syakai-soumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kyouso-syakai-soumu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：10月中旬頃に受講者募集に係る通知をICHO に掲載予定です。》

15名 1.5時間 日本語 対面

## 映画『洪庵と1,000人の若ものたち』鑑賞と解説

講師：松永 和浩(ミュージアム・リンクス 准教授)

**オンデマンド** 10月1日~3月31日

〈キーワード〉適塾、適塾記念センター、適塾記念会、阪大の歴史、適塾顕彰活動、精神的源流、文化財

〈概要〉映画「洪庵と1,000人の若ものたち」に収録された、適塾の様子を再現したドラマや適塾の解体修復工事の記録を通じ、大阪大学の精神的源流を見出し、阪大・適塾記念会が文化財として適塾の遺産をどう守り伝えて来たかを学び、大阪大学の歴史を社会に発信できる人材を育成します。

- ・映画『洪庵と1,000人の若ものたち』の鑑賞 50分
- ・映画の解説 (松永 和浩准教授) 40分

〈目的〉適塾が阪大の精神的源流とされる歴史的背景や意義を阪大構成員に伝え、認識を深めること。  
・適塾記念センター・適塾記念会が適塾顕彰活動を広く学内に発信し、認識を深めること。

《問合せ先：共創推進部 社会連携課 総務係》  
✉ [kyousou-syakai-soumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kyouso-syakai-soumu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：ICHO に掲載、あるいは各部署にメールにて募集要項・チラシなどを配付し、マイハンダイ申込フォームにて参加を募ります。》

制限なし 1.5時間 日本語 オンデマンド



## 社会学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。  
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

※掲載内容は8月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。

定員

受講時間

使用言語

研修形式

定員

受講時間

使用言語

研修形式



## 社会学連携能力 開発プログラム

### なるほど！プレスリリース

講師：広報課職員

**オンライン** ~3月31日

〈キーワード〉 広報、プレスリリース、ニュース、イベント、情報公開、記者発表

〈概要〉 報道機関に向けた情報発信手段の一つとして知られる「プレスリリース」。「名前は知っているけど内容はよくわからない」「プレスリリースを出すことでどのような効果が得られるのか知らない」「プレスリリースを出してみたいけれどどのように書けばいいかわからない」という先生方も多いのではないのでしょうか。この講座ではまず、プレスリリースの概要や効果、メリットについて一から学びます。その後、プレスリリースの具体例を参照しながら、プレスリリースを作成する際の考え方、書き方、事務手続き等について学びます。すぐに実践に活かしていただけの内容です。

《問合先：企画部 広報課 報道係》 [✉houdou@office.osaka-u.ac.jp](mailto:houdou@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：「Microsoft Teams」で動画配信・アンケートを実施します。  
Teams をインストールの上、「チーム」から「チームに参加」→参加者コード (ihskx8d) を入力し、  
令和7年度 新任教員研修プログラム「なるほど！プレスリリース」のチームに参加してください。》

制限なし 0.75時間 日本語 オンデマンド

定員

受講時間

使用言語

研修形式

### ストレスを解消し、腰痛・肩こりを予防し、 仕事力向上をさせるための中医学的体操プログラム

講師：中本 かよ(大阪漢方医学振興財団 理事長)

齊藤 弥生(人間科学研究科 教授)

根岸 和政(工学研究科 准教授)

**吹田** 10月15日、11月19日 (17:40-18:40開催)

〈キーワード〉 健康づくり、ストレス解消、腰痛・肩こり予防、対策、研究力・仕事力向上

〈概要〉 海外の大学では、ストレスを軽減し、研究力や仕事力のアップをはかるため、キャンパスライフに体を動かす取り組みを積極的に取り入れています。2025年度はOUマスタープラン実現加速化事業（活性化A）「社会学共創によるWell-beingでInclusiveなキャンパスづくりの全学展開に向けた試行」の一環として、工学研研究科（レジリエンスサポート&トレーニングセンター）と人間科学研究科（DE&Iプロジェクト）の共催で、外部講師をお招きし、東洋医学的概念に基づいた、心の調和と「退行性変化」を調整する足助式医療体操（体操）を学びます。内臓の働きを高める、体の痛みをとる、ストレスを解消する、老化を防ぐ等の効果が期待され、大阪大学の教職員のパワーアップに貢献します。（動きやすい服装、シューズでご参加ください。）

《問合先：人間科学研究科・人科 DE&Iプロジェクト(OUマスタープラン実現加速事業)事務局》 [✉hus-dei@office.osaka-u.ac.jp](mailto:hus-dei@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：DE&I プロジェクト HP (<https://ouhusdei.hus.osaka-u.ac.jp/>) トップページにて開催日をお知らせします。  
ページに記載の申込フォームよりお申し込みください(先着 15名)。》

15名程度 1時間 日本語 対面



## マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。  
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

### ストレス解消と仕事力向上のためのヨガプログラム

講師：たかはし みほ(ヨガインストラクター)

齊藤 弥生(ヨガインストラクター)

**吹田** 10月17日  
11月21日  
12月19日  
※1月は日程調整中 (各月 1回、12:20-13:20に開催)  
(人間科学研究科棟北館 2階 ラーニングcommons)

〈キーワード〉 ヨガ、ストレス解消、健康づくり、研究力向上

〈概要〉 海外の大学では、ストレスを軽減し、研究力や仕事力のアップをはかるため、キャンパスライフに体を動かす取り組みを積極的に取り入れています。2025年度はOUマスタープラン実現加速化事業（活性化A）「社会学共創によるWell-beingでInclusiveなキャンパスづくりの全学展開に向けた試行」の一環として、毎月1回、外部から講師を招き、ヨガプログラムを実施し、大阪大学の教職員のパワーアップに貢献します。

《問合先：人間科学研究科・人科 DE&I プロジェクト(OU マスタープラン実現加速事業)事務局》 [✉hus-dei@office.osaka-u.ac.jp](mailto:hus-dei@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：プロジェクトHP (<https://ouhusdei.hus.osaka-u.ac.jp/>) 内のヨガプログラムのページよりお申し込み下さい。》

15名 各回1時間 日本語 対面

### 働き方改革推進研修

講師：川島 高之(NPO 法人ファザーリング・ジャパン理事)

**吹田** 10月28日 13:30-15:30予定

〈キーワード〉 DE&I、多様性、アンコンシャス・バイアス、ウェルビーイング、働き方改革、ワークライフバランス

〈概要〉 大阪大学では、働きやすく働きがいのある大学を実現するため、InclusiveでWell-beingなキャンパス環境創出に取り組んでいます。このためには、子どもの有無や育休の有無に関わらず、構成員1人ひとりが大切に私生活を守ること、またそれを尊重する土壌づくりが重要です。ダイバーシティ&インクルージョンセンターでは、今年度もNPO法人ファザーリング・ジャパン理事の川島高之氏を講師としてお招きし、働き方改革推進研修を開催する予定です。今回は対面でのワークショップを想定しています。管理職や経営者として男性育休の促進や働き方改革を実行してこられた講師のご経験や具体的な実践法をお話いただくことで、構成員一人ひとりが大切に私生活を守り、それを尊重する土壌づくりの重要性を学びます。新任教員の皆さまにもご認識いただきたい内容となっておりますので、是非ご受講ください。

《問合先：ダイバーシティ推進課、ダイバーシティ&インクルージョンセンター》 [✉di-center@ml.office.osaka-u.ac.jp](mailto:di-center@ml.office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：ICHO 掲示板、KOAN 及び各部署等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。  
案内に書かれた方法により各自お申し込みください。申込時には必ず大阪大学個人IDをご入力ください。》

120名 2時間 日本語 対面

定員

受講時間

使用言語

研修形式

※掲載内容は8月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドアイ」(FD関係)にてご確認ください。



## マネジメント能力 開発プログラム

限定 情報科学研究科

### 情報科学研究科 FD・SD 研修

講師：原 隆浩(情報科学研究科 研究科長)

石金 直美(キャンパスライフ健康支援・相談センター 准教授)

吹田 11月6日 時間未定 (14:40-17:00の間で1時間40分程度)

〈キーワード〉発達障がい、適応障がい、学生とのコミュニケーション方法、研究科の現状

〈概要〉研究科の現況(40分程度)、発達障がいや適応障がいのある学生との向き合い方(1時間程度)を含み、全体で1時間40分程度の研修とし、研究科の全教職員を対象とします。

発達障がいや適応障がいのある方との接し方を理解すること、また、研究科の現状を知ること、教職員が今後の部局運営や教育・研究活動をよりよいものにするを目的とします。

《問合せ先：情報科学研究科 庶務係》[✉ jyouhou-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:jyouhou-syomu@office.osaka-u.ac.jp)

《申込方法：情報科学研究科庶務係宛に参加者の所属及び氏名をお知らせください。(連絡先は上記問合せ先と同じです。)

100名 1.67時間 日本語 対面

### 傾聴について

講師：広木 芽枝(キャンパスライフ健康支援・相談センター 講師)

豊中 11月14日13:30-15:00

〈キーワード〉傾聴、学生とのコミュニケーション

〈概要〉学生への研究指導や研究室運営において、教員と学生の間で双方向のコミュニケーションが円滑に行われることが望ましいと思われまます。本研修では、心理相談においてカウンセラーが実践する「傾聴」について学びつつ、コミュニケーションの土台となる信頼関係を培うヒントを得ていただければと思います。

《問合せ先：キャンパスライフ健康支援・相談センター 庶務係》[✉ campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp)

《申込方法：お申込は1か月程度前に全学掲示板へ掲載するご案内に記載のフォームによりお願いします。  
新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》

20名 1.5時間 日本語 対面

限定 人文学研究科言語文化専攻及びマルチリンガル教育センター構成員

### 人文学研究科ハラスメント防止研修会

講師：未定

豊中 11月27日 15:10-16:10

〈キーワード〉ハラスメント防止

〈概要〉構成員へのハラスメント防止に係る意識啓発のため、ハラスメント防止に係る講演を行い、本学におけるハラスメントの状況と防止に向けた取り組みを理解します。

《問合せ先：人文学研究科 豊中事務部 人事係》[✉ jimbun-jinji@office.osaka-u.ac.jp](mailto:jimbun-jinji@office.osaka-u.ac.jp)

《申込方法：申込不要です。詳細は対象者に別途通知します。》

制限なし 1時間 日本語 対面

限定 文学部

### 文学部ハラスメント防止研修会

講師：濱田 綾(キャンパスライフ健康支援・相談センター 准教授)

豊中 1月22日13:00-14:00

〈キーワード〉ハラスメント防止

〈概要〉キャンパスライフ健康支援・相談センターの濱田綾先生に講師をお願いします。現在の学生の生活環境の心理といった点から、コミュニケーションの取り方についてお話しいただき、ハラスメントを避けるために注意すべきことなどについて知識を深めることを目的とします。

《問合せ先：文学部ハラスメント問題委員会 委員長 中嶋 泉》[✉ inakajima@let.osaka-u.ac.jp](mailto:inakajima@let.osaka-u.ac.jp)

《申込方法：事前に研修対象者に案内します。文学部で学生指導をする教員は原則として全員が出席をしてください。》

70名 1時間 日本語 対面

限定 蛋白質研究所

### 蛋白質防災安全講習会

講師：未定

オンデマンド 10月頃の1か月間 (日程未定)

〈キーワード〉防災、消火訓練、安全管理

〈概要〉消防訓練解説動画の視聴により、通報訓練、消火訓練(消火器)、消火訓練(屋内消火栓)、避難訓練を行います。緊急時の対応方法の習得、防災意識の向上を目的として実施します。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係》[✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp)

《申込方法：上記問合せ先と同じです。》

制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

### 非化学系のための化学薬品取扱講習

講師：山本 仁(安全衛生管理部 教授)

対面 オンライン 10~11月頃

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉非化学系(生物系・物理系)の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員に対して、化学物質が危険性・有害性を有していること、管理の必要性、法規制、管理方法、危険有害性情報、法令情報の取得方法について学びます。非化学系(生物系・物理系等)の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員が安全な取扱いについて必要な知識を取得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係》[✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)

《申込方法：ICHO、KOANの各掲示板にて案内予定です。掲示内容にもとづき、各自お申し込みください。》

未定 1.5時間 日本語 対面 オンライン

### 詳解：化学物質安全取扱講習

講師：山本 仁(安全衛生管理部 教授)

対面 オンライン 10~11月頃

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉化学薬品の安全な取扱いに関する知識と、関連する主な法令に基づく適切な薬品管理の方法について解説します。また、薬品等の廃棄に関連する方法、概念についても説明します。化学薬品の安全な取扱いに関する知識と法令に基づく適切な薬品管理の方法を取得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係》[✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)

《申込方法：ICHO、KOANの各掲示板にて案内予定です。掲示内容にもとづき、各自お申し込みください。》

未定 1.5時間 日本語 対面 オンライン

### 大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)の利用について

講師：角井 伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

対面 オンライン 10月~11月頃 オンデマンド ~3月31日 (前期に実施した同じ研修の動画を大阪大学CLEで配信)

〈キーワード〉大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)

〈概要〉大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)の使用方法(化学薬品の登録と集計)を習得することを目的としています。また、化学物質に関連する法令等による規制についても理解を深めます。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係》[✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)

《申込方法：対面・オンラインはICHO、KOANの各掲示板にて案内予定です。掲示内容にもとづき、各自お申し込みください。オンデマンドでの受講を希望される方は以下の案内をご確認ください。

【★ICHO 掲示板での案内】  
(<https://icho2.sharepoint.com/sites/ou-portal/Lists/info/DispForm.aspx?ID=16840&pa=1&e=UpNE6N>)

未定 1時間 日本語 対面 オンライン オンデマンド

### 実験系廃液・排水の取扱い

講師：角井 伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

対面 オンライン 10月~11月頃 オンデマンド ~3月31日 (前期に実施した同じ研修の動画を大阪大学CLEで配信)

〈キーワード〉実験系廃液・排水の取扱い

〈概要〉実験系廃液の取扱いでは、実験室で生じる廃液の貯留区分や回収方法、注意点など危険な事例を含めて研修します。また実験系排水の取扱いでは、実験器具の洗浄方法・排水の規制項目や注意点、水質汚濁防止法の有害物質、管理要領・点検表、特定施設の届出などについて研修します。有機廃液管理責任者、無機廃液管理責任者、排水管理責任者に実験系廃液・排水についての取扱いについて習得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係》[✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)

《申込方法：対面・オンラインはICHO、KOANの各掲示板にて案内予定です。掲示内容にもとづき、各自お申し込みください。オンデマンドでの受講を希望される方は以下の案内をご確認ください。

【★ICHO 掲示板での案内】  
(<https://icho2.sharepoint.com/sites/ou-portal/Lists/info/DispForm.aspx?ID=16840&pa=1&e=UpNE6N>)

未定 1時間 日本語 対面 オンライン オンデマンド

※掲載内容は8月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



## マネジメント能力 開発プログラム

### 高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (コアファシリティ機構低温科学支援部門 豊中分室編)



講師：竹内 徹也(コアファシリティ機構 低温科学支援部門 教授)

**豊中** **オンライン** 10月~11月頃 **オンデマンド** ~3月31日 (前期に実施した同じ研修の動画を大阪大学CLEで配信)

〈キーワード〉 高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉 低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及びコアファシリティ機構低温科学支援部門の利用法について講習します。  
また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。

《問合先》：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 [✉anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)  
《申込方法》：対面・オンラインは ICHO、KOAN の各掲示板にて案内予定です。掲示内容にもとづき、各自お申し込みください。オンデマンドでの受講を希望される方は以下の案内をご確認ください。  
【★ICHO 掲示板での案内】  
(<https://icho2.sharepoint.com/sites/ou-portal/Lists/info/DispForm.aspx?ID=16840&pa=1&e=UpNE6N>)

### 高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (コアファシリティ機構低温科学支援部門 吹田分室編)



講師：櫻井 敬博(コアファシリティ機構 低温科学支援部門 特任准教授)

**吹田** **オンライン** 10月~11月頃 **オンデマンド** ~3月31日 (前期に実施した同じ研修の動画を大阪大学CLEで配信)

〈キーワード〉 高圧ガス、液体寒剤

〈概要〉 低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及びコアファシリティ機構低温科学支援部門の利用法について講習します。  
また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。

《問合先》：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 [✉anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)  
《申込方法》：対面・オンラインは ICHO、KOAN の各掲示板にて案内予定です。掲示内容にもとづき、各自お申し込みください。オンデマンドでの受講を希望される方は以下の案内をご確認ください。  
【★ICHO 掲示板での案内】  
(<https://icho2.sharepoint.com/sites/ou-portal/Lists/info/DispForm.aspx?ID=16840&pa=1&e=UpNE6N>)

### 大阪大学高圧ガス管理支援システム(OGCS)利用講習



講師：櫻井 敬博(コアファシリティ機構 低温科学支援部門 特任准教授)

**対面** **オンライン** 10月~11月頃 **オンデマンド** ~3月31日 (前期に実施した同じ研修の動画を大阪大学CLEで配信)

〈キーワード〉 高圧ガス管理支援システム (OGCS)

〈概要〉 高圧ガスを取り扱う教職員で大阪大学高圧ガス管理システム (OGCS) を使用する教職員が使用方法を習得します。  
部局で運用が開始された大阪大学高圧ガス管理システム (OGCS) の使用方法について説明します。

《問合先》：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 [✉anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)  
《申込方法》：対面・オンラインは ICHO、KOAN の各掲示板にて案内予定です。掲示内容にもとづき、各自お申し込みください。オンデマンドでの受講を希望される方は以下の案内をご確認ください。  
【★ICHO 掲示板での案内】  
(<https://icho2.sharepoint.com/sites/ou-portal/Lists/info/DispForm.aspx?ID=16840&pa=1&e=UpNE6N>)

**限定** 理学研究科

### 理学研究科・理学部ハラスメントに関する研修会



講師：未定

**オンデマンド** 10月~11月頃

〈キーワード〉 ハラスメント防止

〈概要〉 理学研究科教職員を対象に、ハラスメントに関する講演を行います。ハラスメント防止のための意識啓発に資することを目的としています。

《問合先》：理学研究科 人事係 [✉ri-jinji@office.osaka-u.ac.jp](mailto:ri-jinji@office.osaka-u.ac.jp)  
《申込方法》：開催が決定次第、研究科構成員あて通知及びポスターの掲示を予定しています。申込は不要です。》

### Well-being 研修



講師：未定

**オンライン** 11月頃予定 **オンデマンド** 研修終了後~3月31日

〈キーワード〉 DE&I、多様性、ウェルビーイング、ワークライフバランス

〈概要〉 大阪大学では、働きやすく働きがいのある大学を実現するため、Inclusive で Well-being なキャンパス環境創出に取り組んでいます。このためには、子どもの有無や育休の有無に関わらず、構成員 1 人ひとりが大切にできる私生活を守ることも、またそれを尊重する土壌づくりが重要です。ダイバーシティ&インクルージョンセンターでは、2025年度も全教職員・学生を対象に、Well-being 研修の開催を予定しております。これまで把握しづらかった更年期障害、PMS などの女性の健康課題を理解することで、組織の生産性向上や誰もがその能力を存分に発揮できる学修・研究・就業環境の整備につなげます。新任教員の皆さまにも、男女問わず、ご認識いただきたい内容となっておりますので、是非ご受講ください。

《問合先》：ダイバーシティ推進課、ダイバーシティ&インクルージョンセンター  
[✉di-center@ml.office.osaka-u.ac.jp](mailto:di-center@ml.office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法》：ICHO 掲示板、KOAN 及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。  
案内に書かれた方法により各自お申し込みください。  
当日は ZOOM ウェビナーで開催し、終了後はアーカイブ配信を行う予定です。》

**限定** 産業科学研究所

### ハラスメント防止に関する講習会



講師：大阪大学ハラスメント相談室 専門相談員 (予定)

**吹田** 11月~2月の1日 14:00-15:30

〈キーワード〉 ハラスメント防止

〈概要〉 講義形式やグループディスカッション等で事例をもとに学習します。  
ハラスメントに関する基礎的な事項及び事例等を学ぶことでハラスメントに対する理解を深め、防止を図るとともに、対処方法を学びます。

《問合先》：産業科学研究所 総務課 人事係 [✉sanken-soumu-jinji@office.osaka-u.ac.jp](mailto:sanken-soumu-jinji@office.osaka-u.ac.jp)  
《申込方法》：所内メールにて通知を行い、参加申し込みをしていただきます。》

**限定** 全教職員、学生、一般

### 未定(民族問題に関する講演内容の予定)



講師：未定

**オンライン** 12月 (日時は未定)

〈キーワード〉 人権問題、民族問題

〈概要〉 人権問題 (民族問題) に関して正しい理解と認識を深めることを目的とし、民族問題 (テーマは未定) について講師よりお話をさせていただきます。

《問合先》：総務部 総務課 文書法規係 [✉soumu-soumu-bunsyohouki@office.osaka-u.ac.jp](mailto:soumu-soumu-bunsyohouki@office.osaka-u.ac.jp)  
《申込方法》：開催月の 1 か月前程に受講者募集に係る通知を予定しています。》

### メンタルヘルス講習会



講師：未定

**オンライン** **オンデマンド** 未定

〈キーワード〉 メンタルヘルス

〈概要〉 メンタルヘルスに対する理解を深めることを目的とします。

《問合先》：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 [✉anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)  
《申込方法》：ICHO、KOAN の各掲示板にて案内予定です。掲示内容にもとづき、各自お申し込みください。》

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は8月末時点の情報です。  
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドアイ」(FD 関係)にてご確認ください。



## マネジメント能力 開発プログラム

限定 人文学研究科

### キャンパスハラスメントに関する研修会

講師：未定

裏面 未定（今年度中の教授会開催日に1時間程度を予定）

〈キーワード〉ハラスメント、ハラスメント対策、ハラスメント防止

〈概要〉ハラスメントに関する講演会を行います。

ハラスメント防止に係る講演を通じ、ハラスメント防止にかかる意識啓発を行うことを目的とします。

《問合せ先：人文学研究科・箕面事務部 庶務係》 [✉ jinbun-minoh-shomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:jinbun-minoh-shomu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：部局内構成員宛に開催通知を予定しています。なお、新任教員については、メールにて担当まで事前にお申し込みください。余裕があれば学生及び学内教職員宛に通知予定です。》



### SOGI 研修

講師：小河 とも(特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ)

オンデマンド ~3月15日

〈キーワード〉DE&I、多様性、SOGI、LGBTQ+

〈概要〉大阪大学は、DE&I実装キャンパスの実現に向けて、誰もがいきいきと学び、働くことができるキャンパスの実現を目指して、講演会や研修を通じた大学構成員への啓発活動、制度の見直し等を積極的に進めています。ダイバーシティ&インクルージョンセンターでは、2025年度も全教職員・学生を対象にSOGI研修の開催を予定しております。学外有識者による講演及び本学のガイドライン紹介等を通じて、「性的指向 (Sexual Orientation)」と「性自認 (Gender Identity)」の多様性と権利を認識し、偏見と差別をなくし、業務遂行にあたり適切な対応ができるよう理解を深めます。新任教員の皆さまにご認識いただきたい内容となっておりますので、是非ご受講ください。

《問合せ先：ダイバーシティ推進課、ダイバーシティ&インクルージョンセンター》 [✉ di-center@ml.office.osaka-u.ac.jp](mailto:di-center@ml.office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：視聴をご希望の方は、以下 URL にアクセスし、必要事項をご入力ください。  
(<https://icho2.sharepoint.com/sites/ou-portal/Lists/info/DispForm.aspx?ID=16862>)》



限定 産業科学研究所

### 産研メンター制度実施利用者に向けての講演会

講師：関野 徹(産業科学研究所 教授)

家島 明彦(キャリアセンター 副センター長・准教授)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉メンタリング、ロールモデル、人材育成、支援、助言、メンティ、メンター

〈概要〉令和5年10月から産研メンター制度を試行的に実施しており、メンター制度の概要、制度先行大学における効果等について説明し、産研所属教職員が制度への理解を深めるとともに、制度適用有資格者のメンティ又はメンター候補者への応募を促進させることを目的とします。また、産研メンター制度を利用しない教職員についても、メンタリング等について知識を得ることにより、部下や学生等への適切な指導に役立てることを目的とします。

講演：「産研メンター制度 ~その理念と期待~」

講師：産業科学研究所 教授 関野 徹

講演：「円滑なコミュニケーションのための基礎知識~ハラスメント予防、リスクマネジメントの観点から~」

講師：キャリアセンター 副センター長・准教授 家島 明彦

《問合せ先：産業科学研究所 戦略室》 [✉ sanken-mentor-system@sanken.osaka-u.ac.jp](mailto:sanken-mentor-system@sanken.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：2025年4月21日に対面で実施し、現在講演会の録画を視聴可能としております。  
所外の学内者が視聴を希望する場合は、以下のメールアドレスにご連絡頂ければ録画のURLをお知らせ致します。：産研戦略室 ML ([air-office@sanken.osaka-u.ac.jp](mailto:air-office@sanken.osaka-u.ac.jp))》



定員

受講時間

使用言語

研修形式

限定 令和7年4月1日以降新たに採用された教員、研究員及び事務職員、課長以上の事務系職員

### 大阪大学新任教職員研修(大学理解研修)

講師：総長、理事

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉ガバナンス、教育、グローバル化、財務状況、社会学創、産学共創、ダイバーシティ&インクルージョン、研究推進、人事・労務

〈概要〉新任教職員に対して、役員等による講義を行います。本学の教職員としての自覚と意識の確立を図り、新任教職員として、大学に課せられたコンプライアンス等、必要な基礎的知識を身につけ、職場への適応力を養い、もって、教職員の資質の向上を図ることを目的とします。

《問合せ先：総務部 人事課 人材育成係》 [✉ soumu-jinji-ikusei@office.osaka-u.ac.jp](mailto:soumu-jinji-ikusei@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：CLEより各自受講してください。受講後アンケートの提出をもって受講完了となります。  
受講 URL ([https://www.cle.osaka-u.ac.jp/ultra/organizations/\\_207899\\_1/cl/outline](https://www.cle.osaka-u.ac.jp/ultra/organizations/_207899_1/cl/outline))》



限定 産業科学研究所

### バイオセーフティー講習会

講師：バイオセーフティー担当教員

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉安全管理、説明

〈概要〉産研においてバイオ実験に新しく従事する学生・研究者を対象に法令に関わる部分を中心に講習を行います。

〈目的〉遺伝子組み換え実験、動物実験を安全に行うための注意事項、関連法並びに関係書類の作成方法等にて、周知徹底を図ることを目的としています。

《問合せ先：産業科学研究所 西野 邦彦》 [✉ nishino@sanken.osaka-u.ac.jp](mailto:nishino@sanken.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：所内メールにて通知を行い、参加申込をしていただきます。》



### 電気コンセントと電気配線の安全講習

講師：百瀬 英毅(安全衛生管理部 教授)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉電気コンセント

〈概要〉実験等で安全に電気を取り扱うための基本事項を取得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係》 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：今年度前期に実施した同じ研修の動画を大阪大学 CLE で配信しております(2026年3月末まで)。  
オンデマンドでの受講を希望される方は以下の案内をご確認ください。

【★ICHO 掲示板での案内】

(<https://icho2.sharepoint.com/sites/ou-portal/Lists/info/DispForm.aspx?ID=16840&pa=1&e=UpNE6N>)》



### 新入教職員安全衛生講習会

講師：高橋 賢臣(安全衛生管理部 准教授)

高見 善(安全衛生管理部 特任技術職員)

長友 泉(キャンパスライフ健康支援・相談センター 教授)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉安全衛生

〈概要〉新たに本学の教職員となった者を対象に、労働安全衛生規則第35条(雇入れ時等の教育)に基づき、本学における安全衛生管理の基本事項を理解していただくとともに、安全意識の向上、事故・災害発生の防止、健康の保持増進に役立てることを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係》 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：今年度前期に実施した同じ研修の動画を大阪大学 CLE で配信しております(2026年3月末まで)。  
受講方法に関するご不明点は総務部安全衛生管理室推進第一係([anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp))までお問い合わせください。》



※掲載内容は8月末時点の情報です。  
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドイ」(FD 関係)にてご確認ください。

📄 オンデマンド一覧〈令和7年度下期(2025.10～2026.3)通年開催分〉

カテゴリ	掲載ページ	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	日時	時間数
教育	P.11	障がい学生のキャリア支援【修学支援編】～社会移行を見据えた修学支援とキャリア支援～	～2月末	1
教育	P.11	障がい学生のキャリア支援【就職支援編】～職場への定着を見据えた精神・発達障がい者の就労支援～	～2月末	1
教育	P.11	障がい学生のキャリア支援【インターンシップ編】～精神・発達障がいのある大学生のためのインターンシップ～	～2月末	1
教育	P.12	博士学生・ポスドクのキャリア支援【知識編】	～2月末	1
教育	P.12	博士学生・ポスドクのキャリア支援【指導編】	～2月末	1
教育	P.12	CLE講習会(入門編)	～3月31日	2
教育	P.13	CLE講習会(応用編)	～3月31日	2
教育	P.13	オンラインビデオ教材作成法(Echo編)	～3月31日	1.5
教育	P.13	アクティブ・ラーニング【基礎編】	～3月31日	1
教育	P.14	シラバスの書き方【基礎編】	～3月31日	1
教育	P.14	学習評価	～3月31日	3
教育	P.14	授業における生成AIの活用法【基礎編】	～3月31日	1
教育	P.9	令和7年度大学院副専攻・大学院等高度副プログラム/高度教養モジュール情報交換会	10月1日～3月31日	1.17
教育	P.9	大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム(FDフォーラム)	10月頃～3月	2.5
教育	P.10	外国人留学生のキャリア支援	3月末(予定)	1
研究	P.19	Nature Masterclasses On-demand [A]-科学プレゼンテーションの技術向上	～2月9日	2-3 (計10)
研究	P.19	Nature Masterclasses On-demand [B]-説得力のある助成金申請書の執筆方法	～2月9日	2-3.5 (計7.5)
研究	P.19	Nature Masterclasses On-demand [C]-論文投稿から出版までの流れの理解	～2月9日	1.5-1.75 (計3.25)
研究	P.20	Nature Masterclasses On-demand [D]-効果的な論文の執筆方法	～2月9日	2-5.5 (計14.5)
研究	P.20	オープンサイエンス時代における研究データマネジメント基礎	～3月31日	1
研究	P.20	人文学研究者必見!テキストデータとTEIで描く新たな研究ビジョン	～3月31日	1
研究	P.21	人文学研究者必見!研究データ管理ことはじめ-OUKAで始めるIIF画像の公開と利活用-	～3月31日	1
研究	P.21	倫理審査はなぜ必要?人を対象とする研究の「倫理原則」基礎知識	～3月31日	0.58
研究	P.21	オープンアクセスを巡る状況と大阪大学におけるオープンアクセス支援	～3月31日	1
研究	P.22	不正防止について	～3月31日	0.33
社会学連携	P.24	なるほど!プレスリリース	～3月31日	0.75
社会学連携	P.23	「映画『洪庵と1,000人の若ものたち』鑑賞と解説」	10月1日～3月31日	1.5
マネジメント	P.26	蛋白研防災安全講習会	10月頃の1か月間 (日程未定)	1
マネジメント	P.28	理学研究科・理学部ハラスメントに関する研修会	10月～11月頃	1
マネジメント	P.30	SOGI研修	～3月15日	1
マネジメント	P.27	大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)の利用について	～3月31日	1
マネジメント	P.27	実験系廃液・排水の取扱い	～3月31日	1
マネジメント	P.28	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (コアファシリティ機構低温科学支援部門豊中分室編)	～3月31日	1.5
マネジメント	P.28	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (コアファシリティ機構低温科学支援部門吹田分室編)	～3月31日	1.5
マネジメント	P.28	大阪大学高圧ガス管理支援システム(OGCS)利用講習	～3月31日	1
マネジメント	P.29	Well-being研修	～3月31日	1
マネジメント	P.30	産研メンター制度実施利用者向けの講演会	～3月31日	2
マネジメント	P.31	大阪大学新任教職員研修(大学理解研修)	～3月31日	1.17
マネジメント	P.31	バイオセーフティー講習会	～3月31日	2
マネジメント	P.31	電気コンセントと電気配線の安全講習	～3月31日	1
マネジメント	P.31	新入教職員安全衛生講習会	～3月31日	1
マネジメント	P.29	メンタルヘルス講習会	未定	未定